

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
正しく安全にご使用していただくために必ず、この取扱説明書をお読みください。

施工業者の方へのお願い

大切な書類です。施工後は必ずお客様にお渡しください。

本文中の⊘ 禁止、⚠ 注意 の表示箇所は特に重要です。必ずお守りください。
守れない場合、思わぬ事故につながりケガをするおそれがあります。

⊘ 禁止

- 本製品は隣地との境界を示す目的に使用するものです。
転落防止を目的とした防護柵や、歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。
- 現場塗装仕上用の場合、年2～3回の水洗いをしてください。
その場合、金属製ブラシや金ペラ等は使用しないでください。表面を傷める可能性があります。
柔らかいナイロンブラシなどを使用してください。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落とした後で水洗いしてください。
- 洗浄機での洗浄を行う場合は、必ず噴射角を「拡散」にし、目立たない所で試し洗浄をし、問題がないことを確認してから行ってください。絶対に「直噴」での洗浄はしないでください。パネルが破損する可能性があります。
- 真夏の炎天下での洗浄は避けてください。急激な温度変化によりパネルが収縮する可能性があります。
- 本製品の材質は硬質ポリスチレンフォームを使用しています。
変形や火災の原因となる場合がありますので、火気を近づけたり車の排気ガス等の高熱が直接当たらないようにしてください。また、シンナーなどの有機溶剤の使用は避けてください。
- 事故などの原因になりますので、むやみな改造、仕様変更はしないでください。
- ケガや事故の原因になりますので製品を破損、変形したまま使用しないでください。
- 破損や事故の原因になりますので、重い物を乗せたり、寄りかかったり、ぶら下がったり、強い衝撃などを与えないでください。

スマート・Fウォール/門袖R型

取付説明書

現場塗装仕上用・現場貼り仕上用

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様などの危害や損害を未然に防止するためのものです。表示記号の内容をよく確認したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
 警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
 注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれのある内容を示しています。

製品破壊、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

運搬及び保管

-  **注意** ●本製品はパネル等に硬質ポリスチレンフォームを使用しています。
硬質ポリスチレンフォーム材は無塗装の部分が長時間直接太陽光のもとに放置されると、紫外線により劣化する恐れがあります。屋外で長時間保管する場合は、必ず養生シートなどで覆ってください。
- 搬入や施工時の運搬はカド打ちに注意して下さい。傷、へこみ、破損の原因になります。
- 硬質ポリスチレンフォームは80℃以上になると変形する可能性があります。
高温の物や火気がない場所に保管してください。
- 当社汎用プライマー（水性）は、凍結させないでください。凍結させると本来の性能を発揮できなくなります。

施工上のご注意

-  **警告** ●本製品の施工には専用の柱を使用してください。使用しない場合、反り・割れが生じる場合があります。
- 転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。
思わぬ事故につながりケガをするおそれがあります。
-  **注意** ●本製品の強度基準を超えた条件下でのご使用は避けてください。
- 正しく施工・組付をするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 本製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 本製品の材質は硬質ポリスチレンフォームを使用しています。
施工時、有機溶剤の塗装、接着剤を使用すると溶解するおそれがあります。
塗材は水性弾性塗材、接着剤は当社規格品または、当社推奨品を使用してください。
PSパネルは断熱性が高いため塗材が濃色の場合、直射日光で高温となり蓄熱水蒸気膨れが発生する場合があります。日光を避けるなど、高温にならないための養生を施して塗装をおこなってください。
- 硬質ポリスチレンフォーム材同士を接着する場合
[当社規格品] オプション接着剤セット
[当社推奨品] (変成シリコーン系接着剤) コニシ社 MPX-1・エフレックス／セメダイン社 PM525
- 硬質ポリスチレンフォーム材に石材等を接着する場合
[当社推奨品] セメダイン社 タイルエースPro／ニッタイ工業社 EY-21／コニシ社 エフレックス
※上記接着剤は弊社にて接着力を確認しております。
- 現場塗装仕上の場合、部材間に隙間や段差が生じる場合があります。この場合、コーキング材にて隙間や段差をなくしてから仕上塗装を行ってください。塗装割れや段差の原因になります。
- コーキング材は必ず変成シリコーン系ノンブリードタイプを使用してください。
- 当社プライマーを現場にて塗布する場合、気温5℃以下での施工は避けてください。
- できる限り施工前に太陽光に当てないでください。部材が反ったり伸縮する恐れがあります。
- 落としたり、物を当てたりしないでください。傷・へこみ・破損の原因となります。
- 車の排気ガスが直接当たる場所や、エアコンの室外機近くなど高温になる場所への設置はしないでください。変形や破損の原因になります。
- パネルを持つ際、汚れた手で触ると汚れが付いて落ちにくくなります。ご注意ください。
- 万が一、パネルに汚れ等が付いた場合は、中性洗剤を用いて柔らかいブラシ等で洗い流してください。
- 製品の特性上、本製品には色差・色ムラがあります。
- 柱ピッチは、800mm (W08の場合)・400mm (W04の場合) で施工してください。
- 現場塗装仕上用は下塗材（プライマー）塗装済、現場貼り仕上用は生地（プライマー未塗装）の状態でお届けされます。
- 基礎部のコンクリートには、急結材や海砂を使用しないでください。柱等の腐食の原因になります。

INDEX

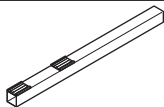
	〈現場塗装仕上用〉	〈現場貼り仕上用〉
INDEX	1	
梱包明細表	2～6	
基本寸法図	7～10	
1.柱建込み前の確認及び部材の組付	11	
1.電気配線の有無確認	11	
2.障害物等の有無確認	11	
3.端部柱・中間柱へのベース材取付部品の取付	11	
4.片側埋込み仕様 (GLレベル差150mm以上) の場合	11	
2.基礎工事	11・12	
1.柱の建込み	11	
2.基礎の打設	12	
3.本体の施工	12～27	12～23
1.ベース材取付部品の取付 (柱建込み前)	12	
2.ベース材 W08 (W04) の組付 (柱建込み時)	13	
3.パネルの組付	13～15	
4.横棧 W08 (W04) の組付	16	
5.パネル2段目以降の組付	17	
6.横棧上 W08 (W04) の組付	18	
7.PS端部カバー・中間・下 (目地無) の貼付け	19	
8.Rパネル R-1・2PS端部カバー (目地無) の貼付け	19・20	
9.上面塞ぎ板の組付	21	
10.目地テープの貼付け	22	
11.軽量セメントモルタル仕上をする場合	23	
12.汎用プライマーの塗装 (現場貼り仕上を部分的に塗装仕上をする場合や、軽量セメントモルタル仕上をする場合)	23	
13.PS硬質笠木の取付	24～27	—
4.照明・インターホンの配線及び取付	28・29	
1.取付位置	28	
2.配線	28・29	
3.電線のパネルからの取出し	29	
4.照明・インターホンの取付	29	

特記事項

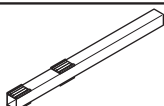
- 口金ポスト用パネルの取付方法は、別紙「口金ポスト用パネル取付説明書」をご覧ください。
- 壁付けポスト用ベース材の取付方法は、「壁付けポスト取付ベースセット取付説明書」をご覧ください。
- 開き窓パネルの取付方法は、「開き窓パネル取付説明書」をご覧ください。
- 現場開口部加工は、「開口部現場加工の各取付説明書」をご覧ください。

梱包明細表〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

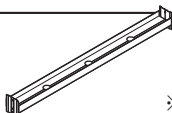
R型端部柱セット

名称 部材・部品	略図	員数
端部柱A・B・C・D		1
φ4.1×38ナベ木ネジ(表札・照明取付用)		3
取付・取扱説明書		1

R型中間柱セット

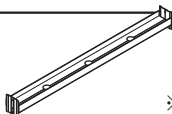
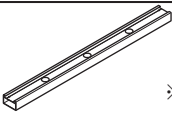
名称 部材・部品	略図	員数
中間柱B・C・D		1

横棧W08(1本入)セット 横棧W04(1本入)セット

名称 部材・部品	略図	員数
横棧 W08・W04	 ※図はW08の場合	1
φ4×13トラスドリルネジ		2

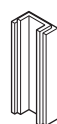
A型横棧上・ベース材W08セット(A型と共通)

A型横棧上・ベース材W04セット(A型と共通)

名称 部材・部品	略図	員数
横棧 W08・W04	 ※図はW08の場合	1
ベース材 W08・W04	 ※図はW08の場合	1
ベース材取付部品		2
φ4×13トラスドリルネジ		12(予備2)

PS端部カバー中間・下 現場塗装仕上用(目地無)(2個入)セット

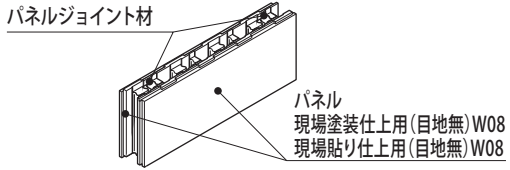
PS端部カバー中間・下 現場貼り仕上用(目地無)(2個入)セット

名称 部材・部品	略図	員数
PS端部カバー中間・下 (目地無)		2

梱包明細表〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

■パネル 現場塗装仕上用(目地無)W08(1セット入)セット

■パネル 現場貼り仕上用(目地無)W08(1セット入)セット

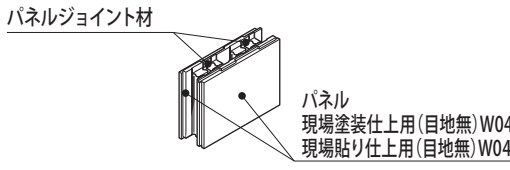
名称 部材・部品	略図	員数
パネル 現場塗装仕上用(目地無)W08 パネル 現場貼り仕上用(目地無)W08		2
パネルジョイント材		2

■パネル 現場塗装仕上用(目地無)W04(1セット入)セット

■パネル 現場塗装仕上用(目地無)W04(2セット入)セット

■パネル 現場貼り仕上用(目地無)W04(1セット入)セット

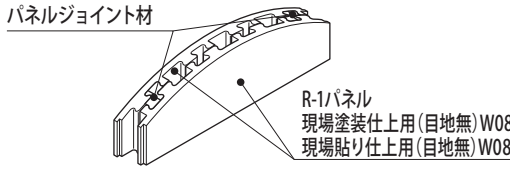
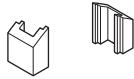
■パネル 現場貼り仕上用(目地無)W04(2セット入)セット

名称 部材・部品	略図	員数
パネル 現場塗装仕上用(目地無)W04 パネル 現場貼り仕上用(目地無)W04		2(4)
パネルジョイント材		2(4)

※()は2セット入りの場合

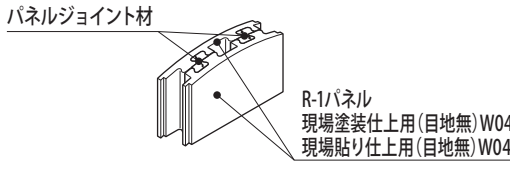
■R-1パネル 現場塗装仕上用(目地無)W08(1セット入)セット

■R-1パネル 現場貼り仕上用(目地無)W08(1セット入)セット

名称 部材・部品	略図	員数
R-1パネル(目地無)W08		2
R-1W08パネルジョイント材		2
R-1・PS端部カバー(目地無)W08用		2
上面塞ぎ板R-1・W08	 L=482	2
コースレッドネジL28		16

■R-1パネル 現場塗装仕上用(目地無)W04(1セット入)セット

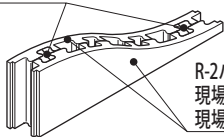
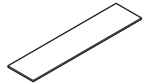
■R-1パネル 現場貼り仕上用(目地無)W04(1セット入)セット

名称 部材・部品	略図	員数
R-1パネル(目地無)W04		2
R-1W04パネルジョイント材		2
R-1・PS端部カバー(目地無)W04用		2
上面塞ぎ板R-1・W04	 L=518	1
コースレッドネジL28		8

梱包明細表〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

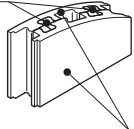
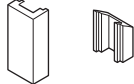
R-2パネル 現場塗装仕上用(目地無)W08(1セット入)セット

R-2パネル 現場貼り仕上用(目地無)W08(1セット入)セット

名称 部材・部品	略図	員数
R-2パネル(目地無)W08	 パネルジョイント材 R-2パネル 現場塗装仕上用(目地無)W08 現場貼り仕上用(目地無)W08	左・右各1
R-2W08パネルジョイント材(大・小)		大・小各1
R-2W08PS端部カバー(目地無)(大・小)		大・小各1
上面塞ぎ板R-2・W08	 L=471	2
コースレッドネジL28		16

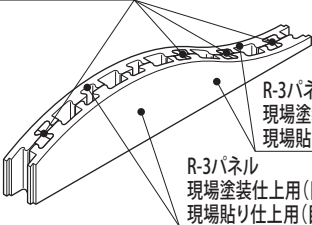
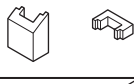
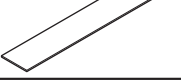
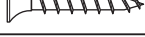
R-2パネル 現場塗装仕上用(目地無)W04(1セット入)セット

R-2パネル 現場貼り仕上用(目地無)W04(1セット入)セット

名称 部材・部品	略図	員数
R-2パネル(目地無)W04	 パネルジョイント材 R-2パネル 現場塗装仕上用(目地無)W04 現場貼り仕上用(目地無)W04	1
R-2W04パネルジョイント材		2
R-2W04PS端部カバー(目地無)(大・小)		大・小各1
上面塞ぎ板R-2・W04	 L=537	1
コースレッドネジL28		8

R-3パネル 現場塗装仕上用(目地無)W12(1セット入)セット

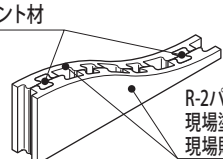
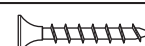
R-3パネル 現場貼り仕上用(目地無)W12(1セット入)セット

名称 部材・部品	略図	員数
R-3パネル(目地無)W04	 パネルジョイント材 R-3パネル 現場塗装仕上用(目地無)W04 現場貼り仕上用(目地無)W04 R-3パネル 現場塗装仕上用(目地無)W08 現場貼り仕上用(目地無)W08	左・右各1
R-3パネル(目地無)W08		左・右各1
R-3W12パネルジョイント材(大・中・小)		4
R-3W12PS端部カバー(目地無)(大・小)		大・小各1
上面塞ぎ板R-3・W12	 L=685	2
コースレッドネジL28		20

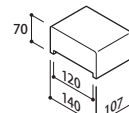
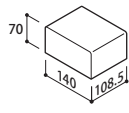
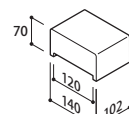
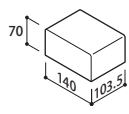
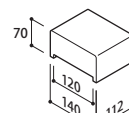
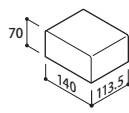
梱包明細表〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用〉

R-連結パネル 現場塗装仕上用(目地無)W08(1セット入)セット

R-連結パネル 現場貼り仕上用(目地無)W08(1セット入)セット

名称		略図	員数	
部材・部品			端部用	中間用
連結パネル(目地無)W08		パネルジョイント材  R-2パネル 現場塗装仕上用(目地無)W08 現場貼り仕上用(目地無)W08	左・右各1	
R-2W08パネルジョイント材(大・小)			大・小各1	
R-2W08PS端部カバー(目地無)(小)			1	—
上面塞ぎ板R-連結W08端部用	L=471		1	—
	L=416		1	2
コースレッドネジL28			16	

PS硬質笠木セット

名称 部材・部品	略図	員数							
		R-1		R-2		R-3	R-連結	開き窓	
		W04	W08	W04	W08	W12	中間	W04	W08
Aタイプ中間用	  PS硬質笠木A(中間用) PS硬質笠木A(端部用)	3	7	—	—	—	—	—	—
Aタイプ端部用		2	2	—	—	—	—	—	—
Bタイプ中間用	  PS硬質笠木B(中間用) PS硬質笠木B(端部用)	—	—	—	7	11	8	—	4
Bタイプ端部用		—	—	—	2	2	—	—	—
Cタイプ中間用	  PS硬質笠木C(中間用) PS硬質笠木C(端部用)	—	—	3	—	—	—	2	—
Cタイプ端部用		—	—	2	—	—	—	—	—
クッション材 2×8×1000	 	1	2	1	2	3	2	1	1
クッション材 10×50×1000		1	1	1	1	2	1	—	—

※端部用笠木は、中間笠木の片側に化粧板を貼り付けたものです。

梱包明細表〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用〉

■接着剤セット

名称 部材・部品	略図	員数
接着剤	 135ml	1

■目地テープセット

名称 部材・部品	略図	員数
目地テープ	 50mm×45m	1

■汎用プライマー(100ml)・刷毛セット

名称 部材・部品	略図	員数
汎用プライマー(100ml)	 100ml	1
刷毛		1

■汎用プライマーセット(1.5Kg)

名称 部材・部品	略図	員数
汎用プライマー(1.5Kg)	 1.5Kg	1

■汎用プライマーセット(15Kg)

名称 部材・部品	略図	員数
汎用プライマー(15Kg)	 15Kg	1
取扱・取付説明書		1

PS硬質笠木取付の際の注意事項

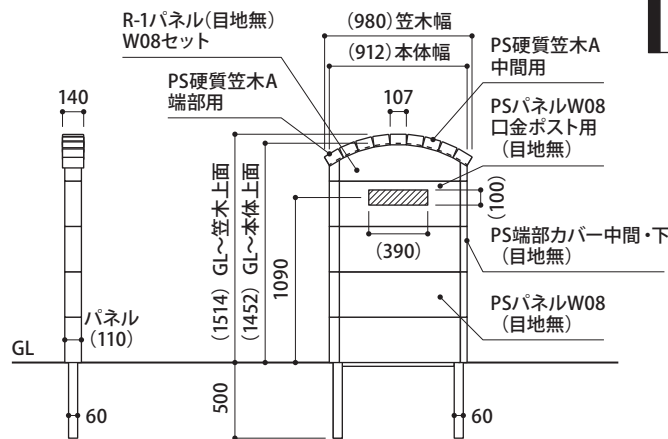
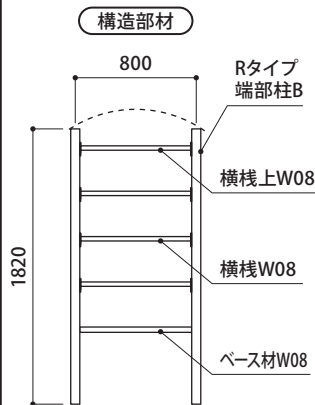
- ※PS硬質笠木を取り付ける場合は、上面塞ぎ板に汎用プライマーを塗ったり、塗装仕上をしないでください。(P.22参照)
- ※軽量セメントモルタル仕上の場合は、PS硬質笠木は取り付けできません。(P.23参照)
- ※アクセントパネルを貼り付けると、PS硬質笠木は取り付けできません。(P.24参照)
- ※現場貼り仕上の場合、タイル等を貼り付けるとPS硬質笠木は取り付けできません。(P.24参照)

基本寸法図〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用〉

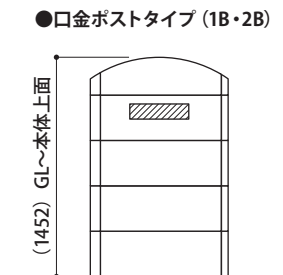
※現場貼り仕上用の場合、PS硬質笠木の取り付けはできません。

門袖R-1・W08

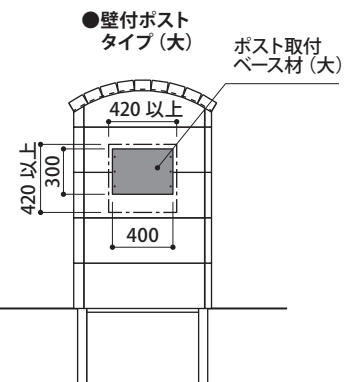
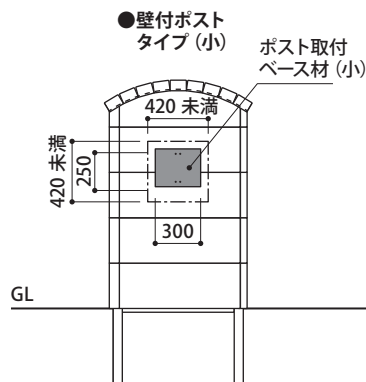
●口金ポストタイプ (1B・2B)



PS硬質笠木無の場合

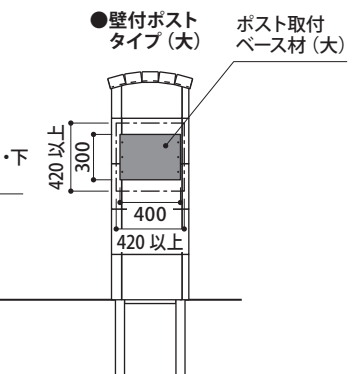
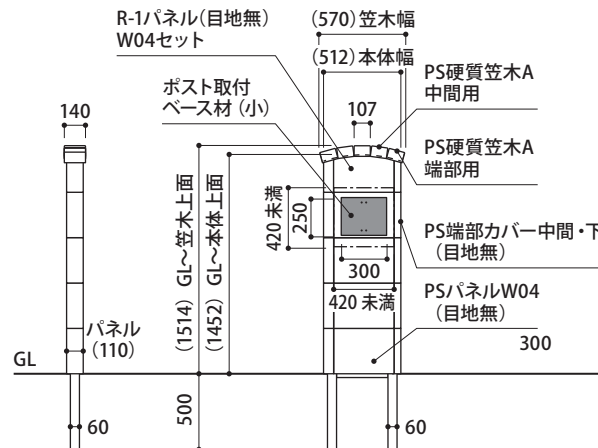
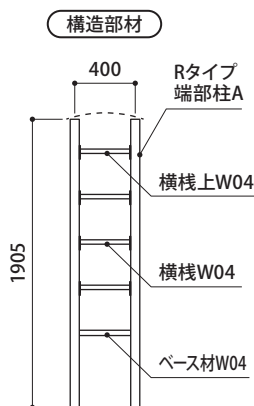


- ※()寸法は製品公差・組立公差により数ミリのズレが発生します。
- ※壁付ポストの大きさや取り付け位置に合わせ、ポストの取付ベースの位置を決めてください。
- ※現場貼り仕上用の場合、貼り付ける石材やタイルにより、PS硬質笠木が取り付けできなくなります。

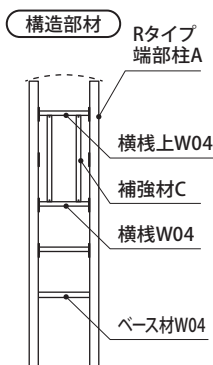


門袖R-1・W04

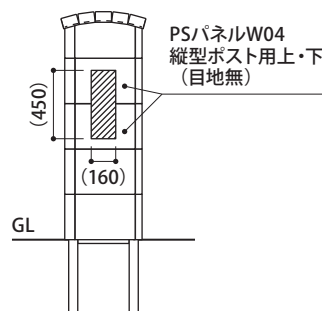
●壁付ポストタイプ (小)



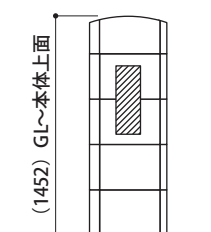
PS硬質笠木無の場合



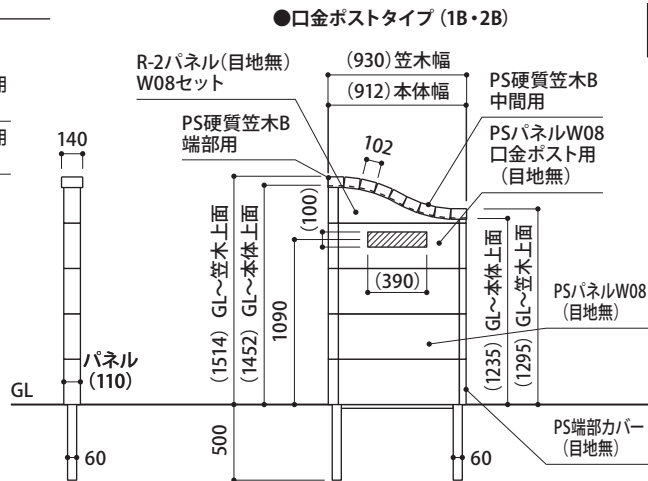
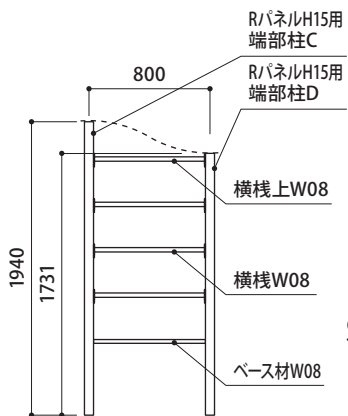
●縦型ポストタイプ



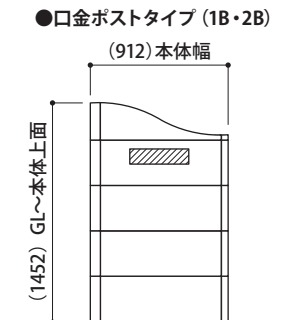
●縦型ポストタイプ



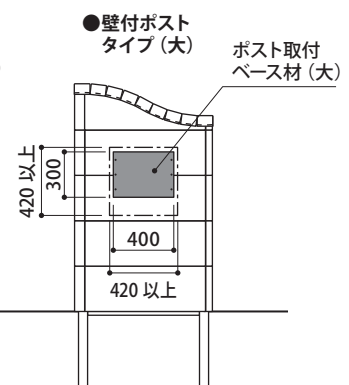
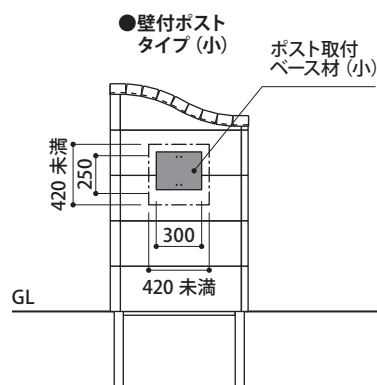
門袖R-2・W08



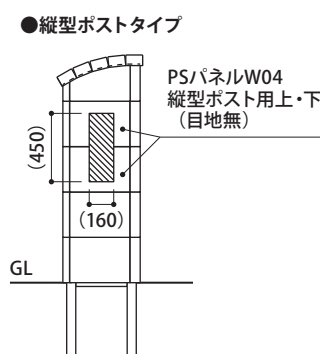
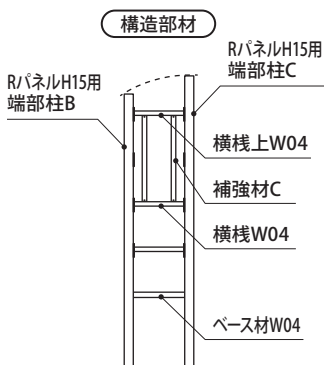
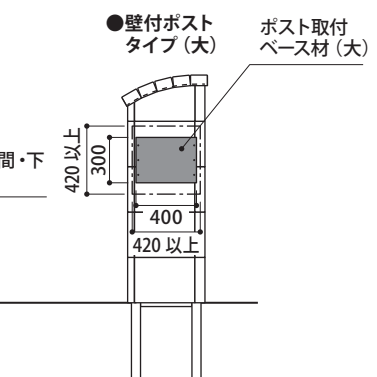
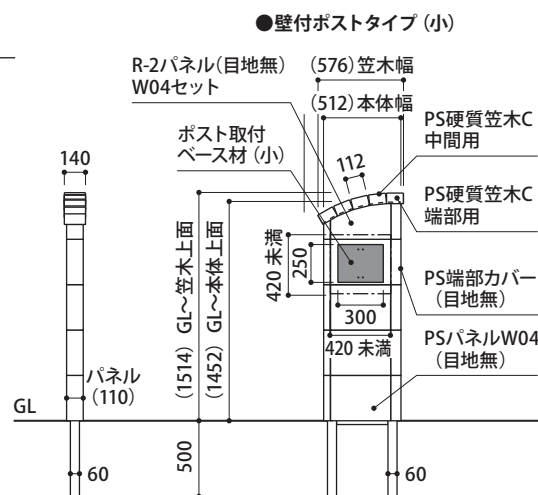
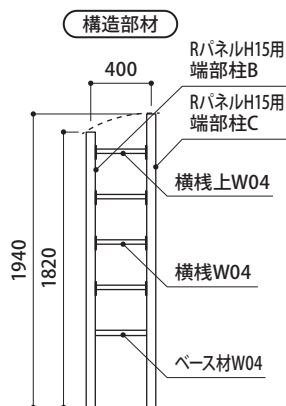
PS硬質笠木無の場合



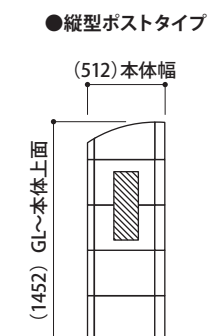
※() 寸法は製品公差・組立公差により数ミリのズレが発生します。
 ※壁付ポストの大きさや取り付け位置に合わせ、ポストの取付ベースの位置を決めてください。
 ※現場貼り仕上用の場合、貼り付ける石材やタイルにより、PS硬質笠木が取り付けできなくなります。
 ※門袖R-2は左右で柱の高さが異なります。ご注意ください。



門袖R-2・W04



PS硬質笠木無の場合

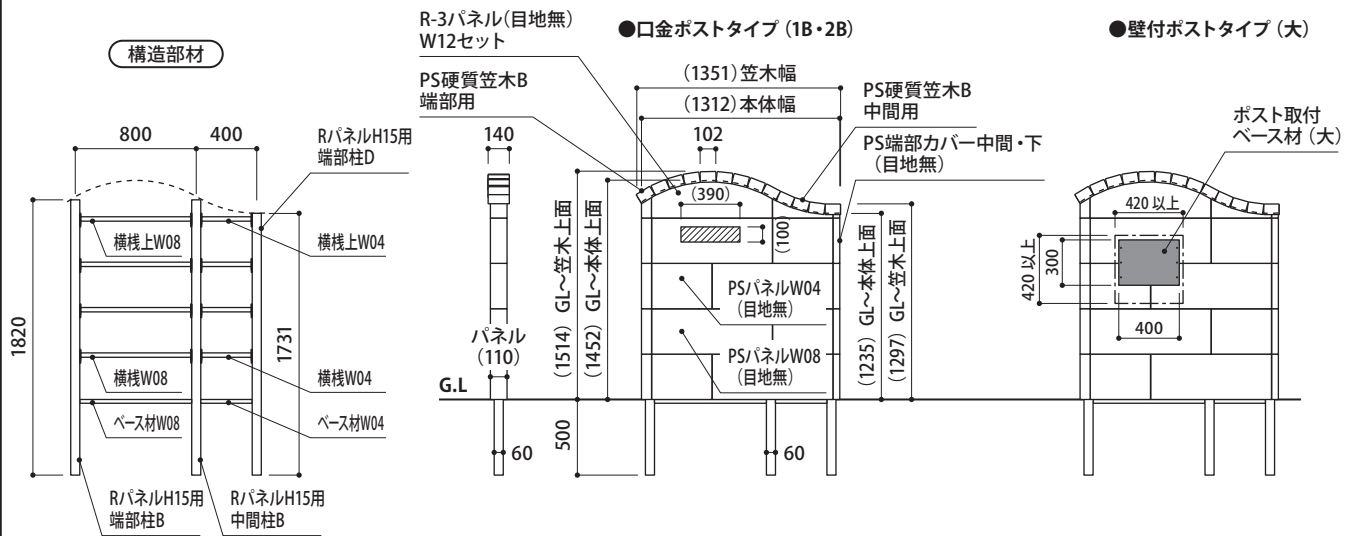


基本寸法図〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用〉

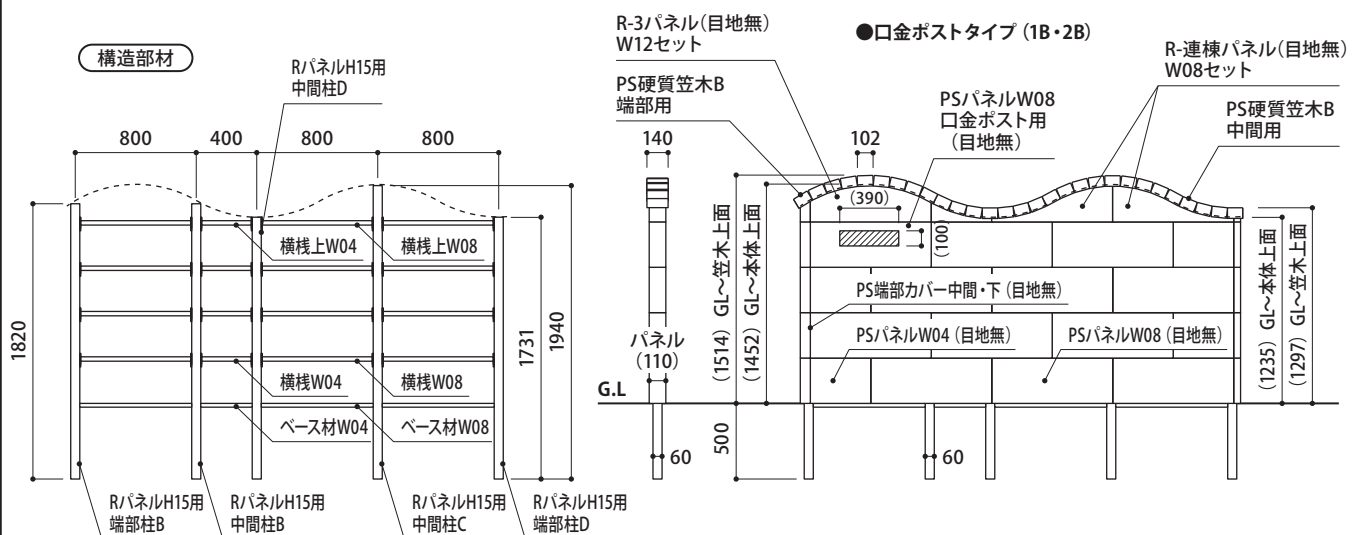
※現場貼り仕上用の場合、PS硬質笠木の取り付けはできません。

門袖R-3・W12

※() 寸法は製品公差・組立公差により数ミリのズレがあります。
 ※壁付ポストの大きさや取り付け位置に合わせ、ポストの取付ベースの位置を決めてください。
 ※現場貼り仕上用の場合、貼り付ける石材やタイルにより、PS硬質笠木が取り付けできなくなります。

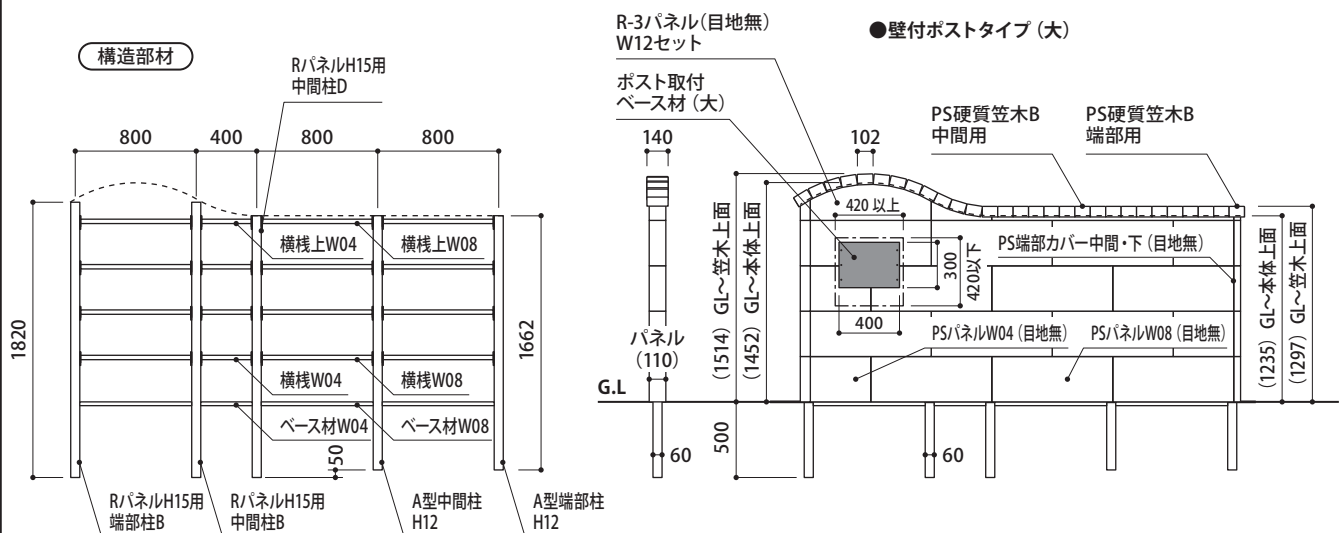


門袖R-3+Rパネル連結 (2スパン)



門袖R-3+A型H12連結 (2スパン)

※門袖R-3に連結できるのは、A型H12サイズとなります。
 ※門袖R柱の埋め込み寸法は、A型H12サイズより50mm深くなります。



基本寸法図〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用〉

※現場貼り仕上用の場合、PS硬質笠木の取り付けはできません。

※開き窓の取り付けはポストの取り付けに支障がないように1・2段目、2・3段目のどちらかで決めてください。

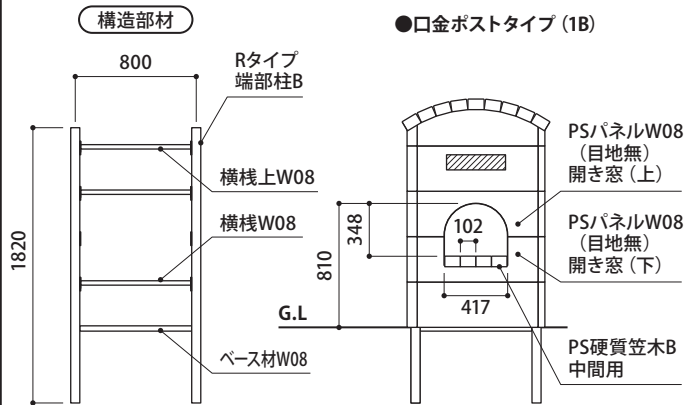
口金ポスト1B取り付けの場合は2・3段目もしくは1・2段目、口金ポスト2B取り付けの場合は1・2段目、縦型ポスト取り付けの場合は1・2段目、壁付ポストはポストの大きさに決定してください。

※開き窓のパネル間の横棧は取り付け不要です。(下図参照)

※取り付けは別紙「開き窓取付説明書」をご覧ください。

開き窓W08 (2・3段目納まり)

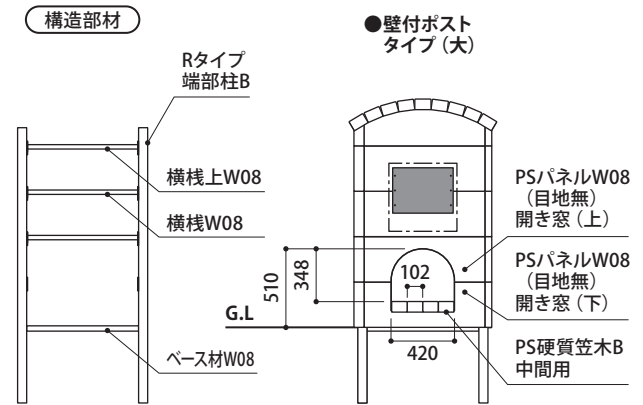
R-1・W08に取り付けの場合



※2Bはポストの大きさより1・2段目納まりです。

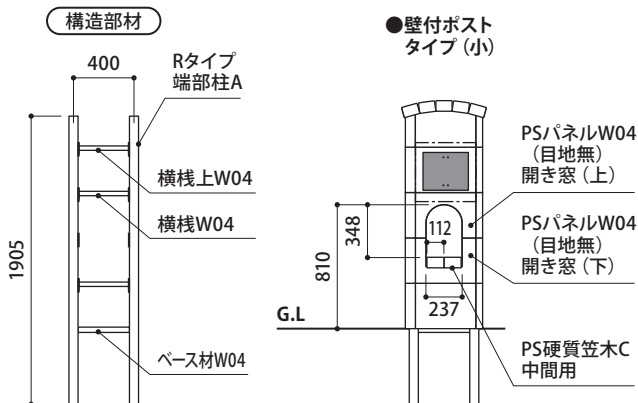
開き窓W08 (1・2段目納まり)

R-1・W08に取り付けの場合



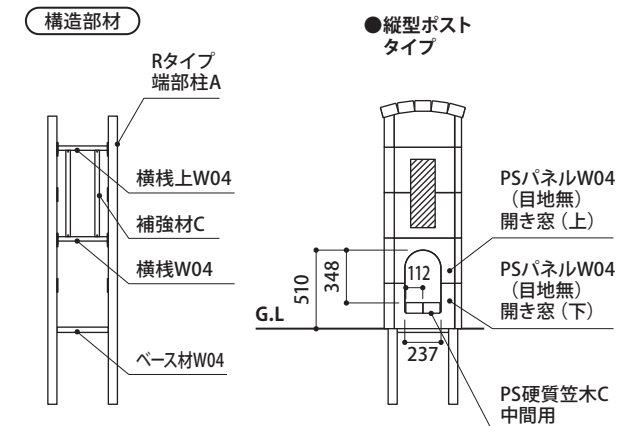
開き窓W04 (2・3段目納まり)

R-1・W04に取り付けの場合



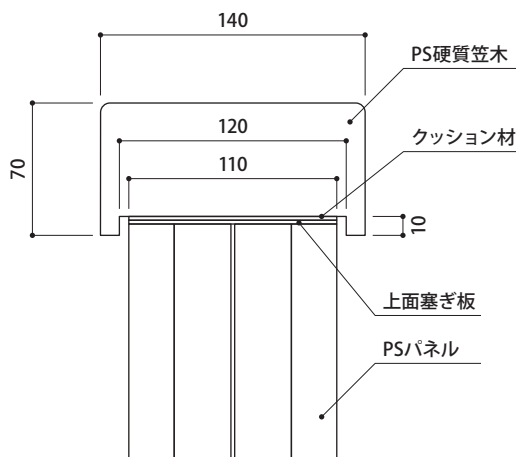
開き窓W04 (1・2段目納まり)

R-1・W04に取り付けの場合

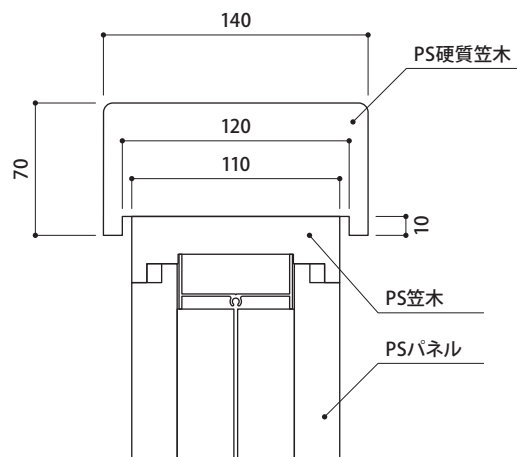


PS硬質笠木納まり図

●R/パネル上部の場合



●PS笠木の場合



1.柱建込み前の確認及び部材の組付〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

⚠ 注意 必ず柱建て込み前に下記を確認してください。

1.電気配線の有無確認 参照 P.28・29

照明・インターホン等の取り付けにて配線が必要な場合は、柱を建て込む前に必ずP.28・29を参照に行ってください。(柱の建て込み後では、配線できない場合があります。)

2.障害物等の有無確認

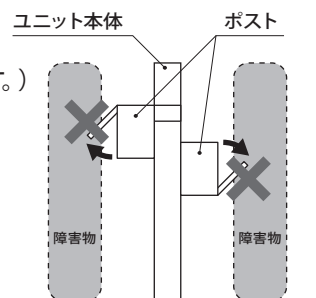
ポストの蓋の開閉に支障が起きないように確認してください。

3.端部柱・中間柱へのベース材取付部品の取付 参照 P.12

柱を建て込む前に、端部柱・中間柱にベース材W08(W04)を組み付けるためのベース材取付部品を取り付けてください。

4.片側埋込み仕様 (GLレベル差150mm以上) の場合

補助柱が必要になりますので、補助柱セットに同梱されている取付説明書を参照して施工してください。



2.基礎工事〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

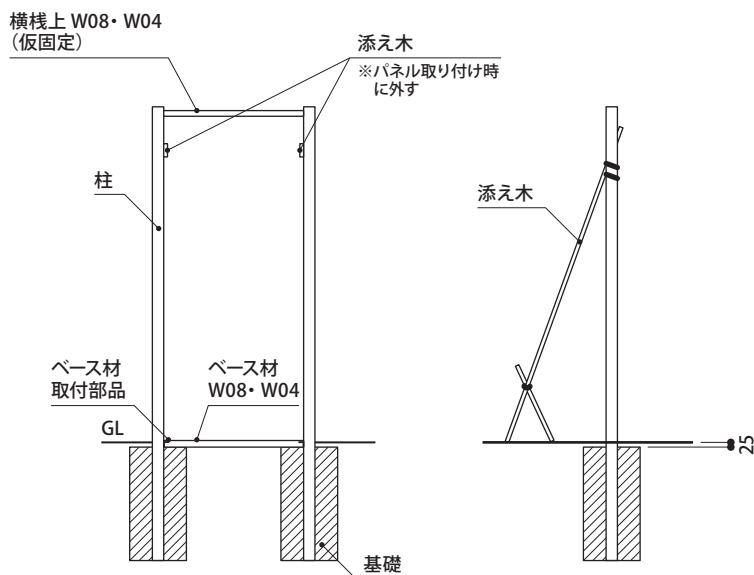
1.柱の建込み 参照 ベース材取付部品の取付P.12、ベース材の組付P.13、横桟上の組付P.18

柱の建て込みと同時にベース材W08(W04)を組み付けて、柱ピッチ (800mm・400mm) 出しを必ず行ってください。

この時、柱上部の横桟取付部品に横桟上W08(W04)を取り付ける(仮固定)と柱の水平・ピッチ出しがしやすくなります。(下図参照)

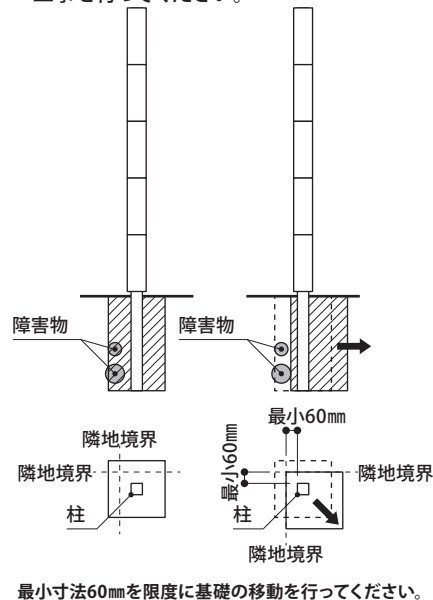
※柱の固定は添え木等で柱上部を保持し、下から順次パネル(横桟W08(W04))を組み付けにて柱を固定後、上部パネル組み付け時に添え木を外してください。(下図参照)

⚠ 注意 ●柱・ベース材W08(W04)の水平・垂直・レベル出しを正確に行ってください。
●柱のピッチが出ていないと、パネル間の隙間が出たり組み付けできない場合があります。



●基礎偏芯の場合

障害物や隣地境界線により基礎の位置を変更する場合は、下図を参考に偏芯基礎の工事を行ってください。



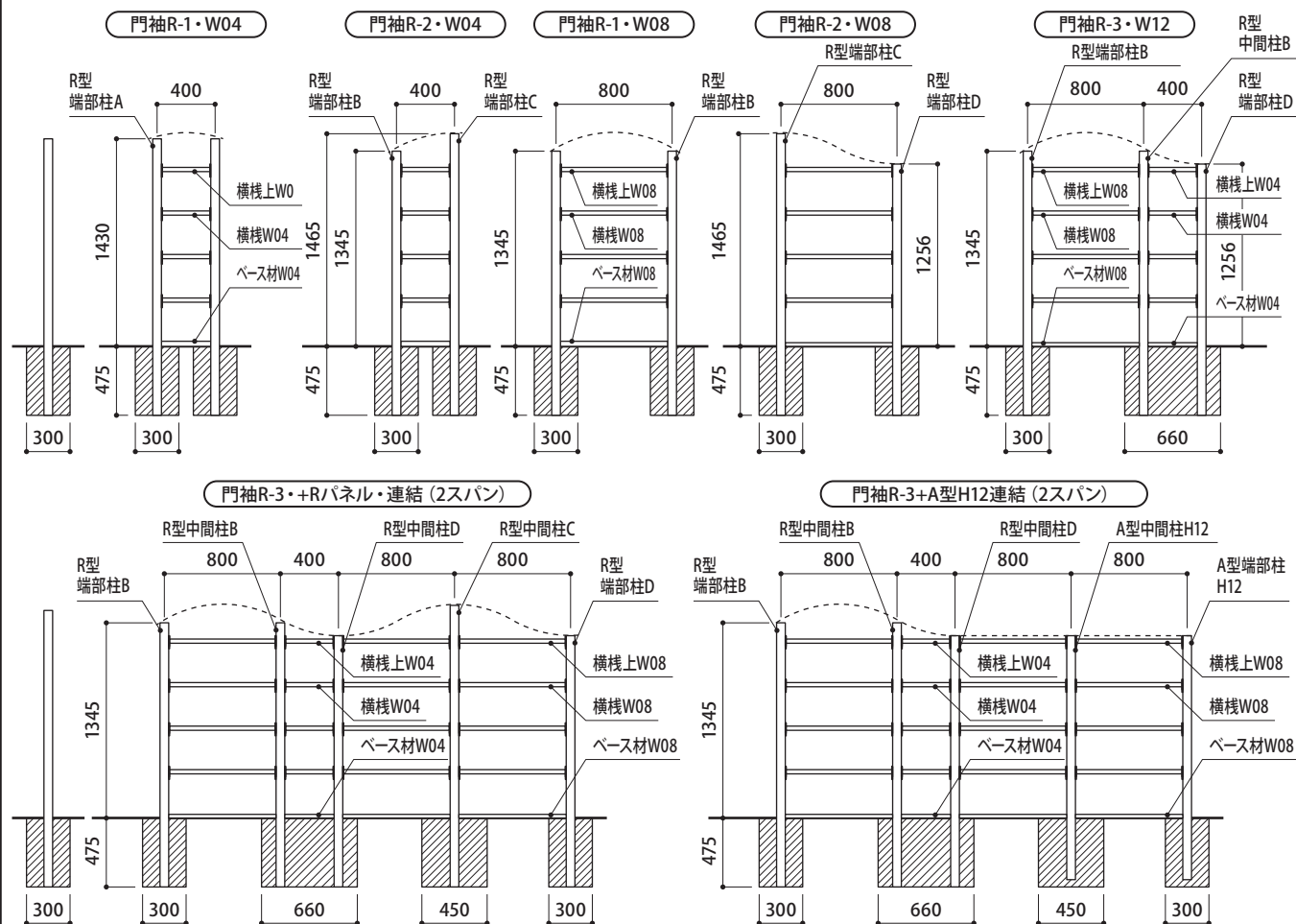
⚠ 注意

- 基礎打設前に必ず柱とベース材W08(W04)は組み付けておいてください。打設後はベース材W08(W04)は取り付けできません。
- コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系やアルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤・凝固促進剤・急結剤)などは使用しないでください。アルミなどの金属が腐食する原因となります。非塩素系または非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- 指定基礎寸法は必ず守って施工してください。
- 高さH1200超の場合は、基礎石による施工は避け独立基礎施工としてください。

2.基礎工事〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

2.基礎の打設

柱の建て込み後、下図を参照に基礎を打設してください。



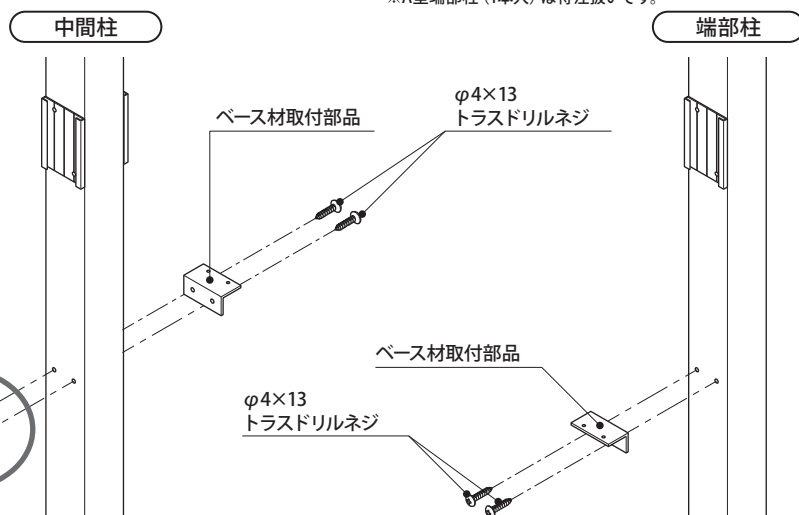
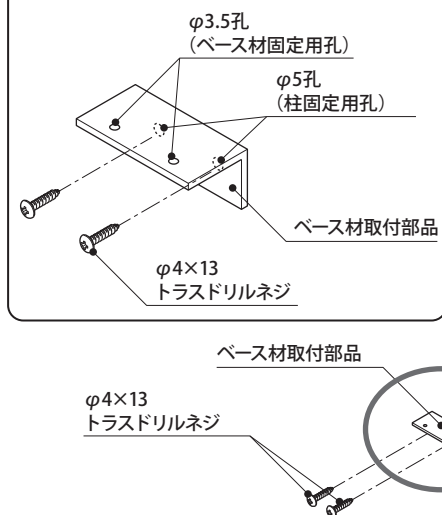
3.本体の施工〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

1.ベース材取付部品の取付(柱建て込み前)

- ① 柱にベース材取付部品のφ5孔に、φ4×13トラスドリルネジで取り付けます。
※ベース材取付部品…端部柱の場合は片側、中間柱の場合は両側に組み付けてください。

ご注意

ベース材取付部品の向きに注意して柱に取り付けてください。



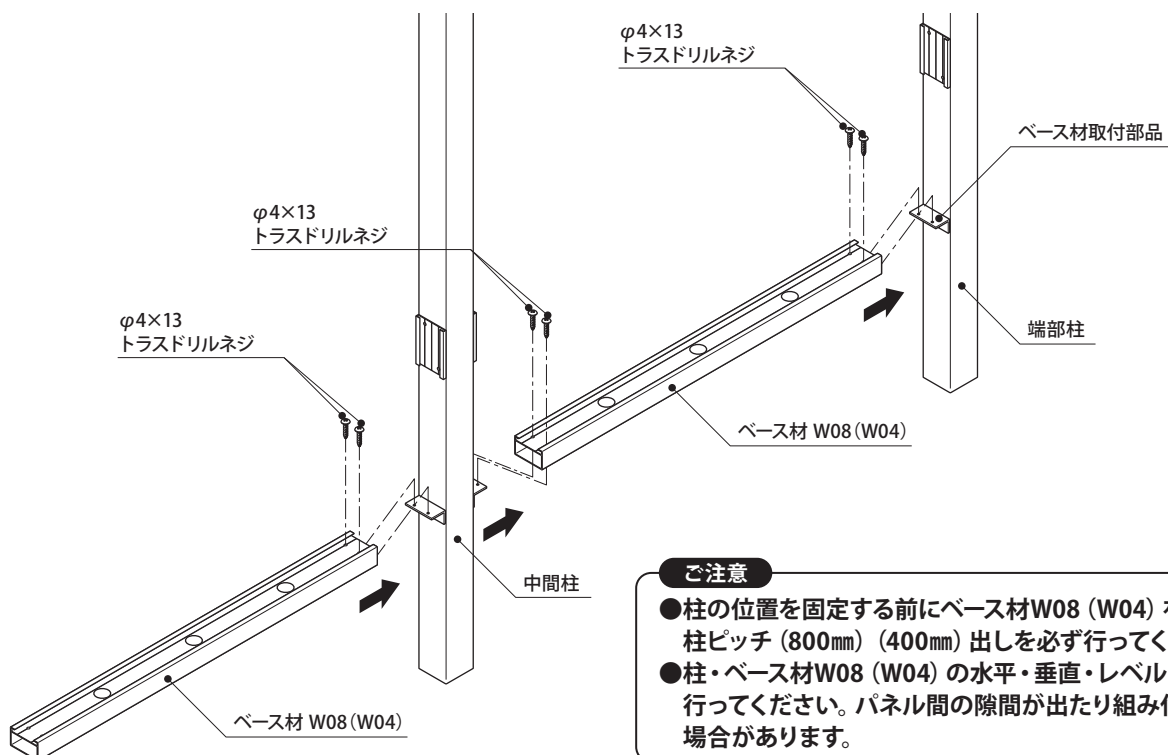
部材名	梱包名称
端部柱	R型端部柱ABCD (1本入) セット
	A型端部柱 (1本入) セット
中間柱	R型中間柱BCD (1本入) セット
	A型中間柱 (1本入) セット
ベース材取付部品	A型横線上・ベース材W08セット
	A型横線上・ベース材W04セット

※A型端部柱 (1本入) は特注扱いです。

3.本体の施工〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

2.ベース材W08 (W04) の組付 (柱建込み時)

- ①柱を立て、ベース材W08 (W04) にベース材取付部品を差し込んでφ4×13トラスドリルネジで取り付けます。



部材名	梱包名称
ベース材W08	A型横桟上・ベース材W08セット
ベース材W04	A型横桟上・ベース材W04セット

ご注意

- 柱の位置を固定する前にベース材W08 (W04) を組み付けし、柱ピッチ (800mm) (400mm) 出しを必ず行ってください。
- 柱・ベース材W08 (W04) の水平・垂直・レベル出しを正確に行ってください。パネル間の隙間が出たり組み付けできない場合があります。

3.パネルの組付

W08パネルの場合です。W04パネルの場合も同じように組み付けてください。

ご注意

インターホン・照明を取り付ける場合は必ずP.28・29を参照し、パネルの組み付けと同時に配線を行ってください。
(パネルの組み付け後では、配線はできません。)

ご注意

R-3・W12の場合、必ず千鳥張りになるようにしてください。
(基本寸法図P.9参照)ただし、「開き窓」や「スリット加工」などの現場加工の場合は、各取説に従ってパネルを組み付けてください。

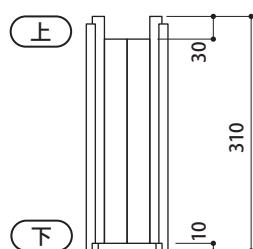
部材名	梱包名称
パネル現場塗装仕上用 (目地無) W08	パネル現場塗装仕上用 (目地無) W08 (1セット入) セット
パネルジョイント材	
パネル現場塗装仕上用 (目地無) W04	パネル現場塗装仕上用 (目地無) W04 (1セット入) セット
パネルジョイント材	
パネル現場貼り仕上用 (目地無) W08	パネル現場貼り仕上用 (目地無) W08 (1セット入) セット
パネルジョイント材	
パネル現場貼り仕上用 (目地無) W04	パネル現場貼り仕上用 (目地無) W04 (2セット入) セット
パネルジョイント材	

下段より順次下記方法にて、パネルの組み付けを行ってください。

- ①パネルを箱から取り出し、パネル上側を上にして片側を押さえて反対側のパネルのセンターを持って、上にスライドさせて抜いてください。
(上下逆ですと抜けません。)
パネルジョイント材がパネルと一緒に上へ上がってきた場合は、下に押し下げてください。パネルが抜けやすくなります。

ご注意

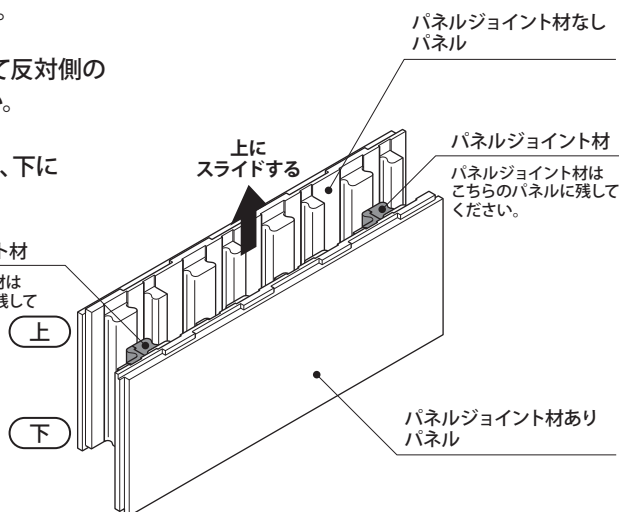
パネルには上・下があります。
溝が深い (30mm) の方が上になります。
必ず上を上側にして作業を行ってください。



パネル側面図

パネルジョイント材

パネルジョイント材はこちらのパネルに残してください。



ご確認

1段目に開き窓パネルを取り付ける場合は、「開き窓取付説明書」をご覧ください、注意事項を確認してください。

3.本体の施工〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

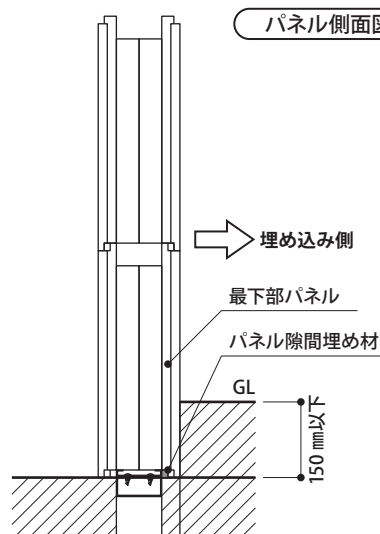
片側埋込み仕様の場合

ご注意

※GLのレベル差が150mm以上の場合、補助柱が必要になります。
スマート・Fウォール補助柱セット同梱の取付説明書を参照に
施工してください。

※片側埋込み仕様（GLレベル差150mm未満）の場合、最下部
パネルの底面にパネル隙間埋め材の貼付けが必要となります。
（下図参照）

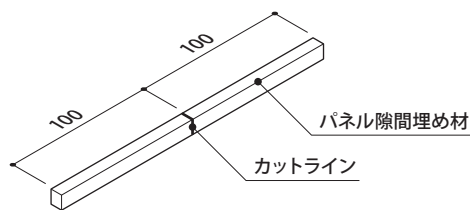
※片側埋込み仕様の場合、開き窓を1段目に取り付けることは
できません。



●パネル底面へのパネル隙間埋め材の貼付け

①パネル隙間埋め材（L=200mm）を半分（100mm）にカットしてください。

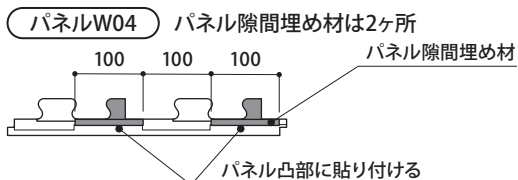
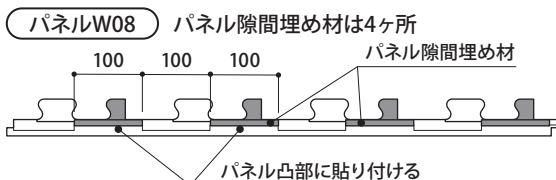
部材名	梱包名称
パネル隙間埋め材	パネル隙間埋め材セット



②カットしたパネル隙間埋め材の剥離紙を剥がし、一番下に組み付けるパネルの下面
凸部側面に貼り付けてください。（パネルW08には4ヶ所・パネルW04には2ヶ所）

③パネル隙間埋め材を貼り付けたパネルを、埋め込み側にしてパネルを組み付けてください。

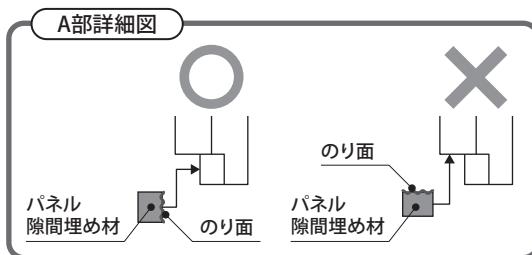
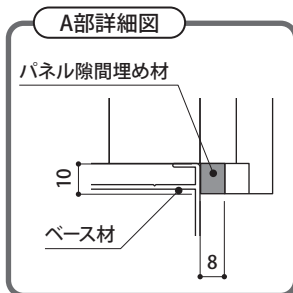
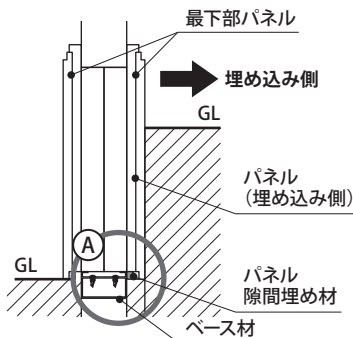
パネル隙間埋め材貼付け図



ご注意

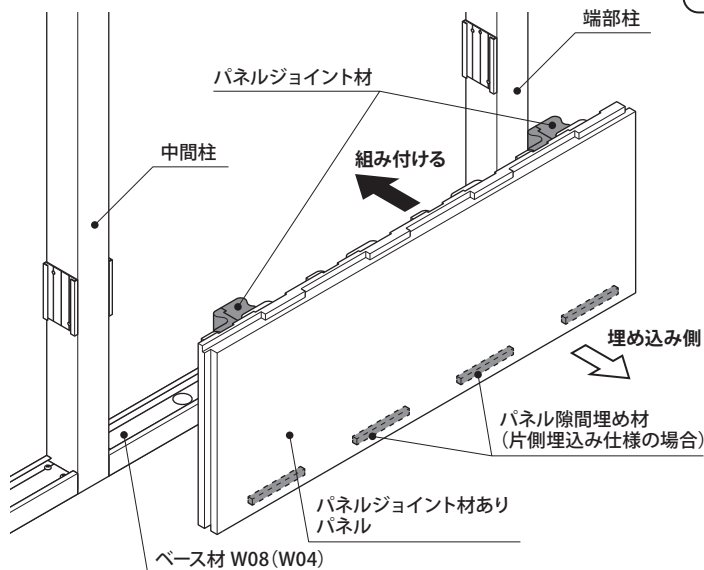
※パネル隙間埋め材（10mm×8mm）には向きがあります。
逆に取り付けると、ベース材と干渉して組み付けできなくなります。

※必ず、パネル立ち上げ部にパネル隙間埋め材を
貼り付けてください。



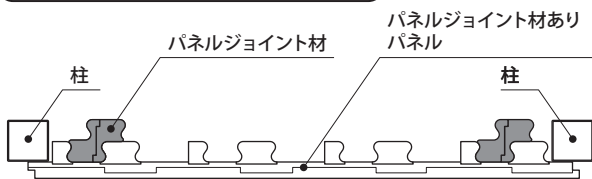
3.本体の施工〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

- ②パネルジョイント材ありパネルを柱と柱の間に、ベース材W08 (W04) の上に載せます。(下記納まり図参照)
(パネルジョイント材がパネルから抜けた場合は、同じ向き〈upと入った方を上〉にしてパネルの下から入れてください。上からは入りません。)



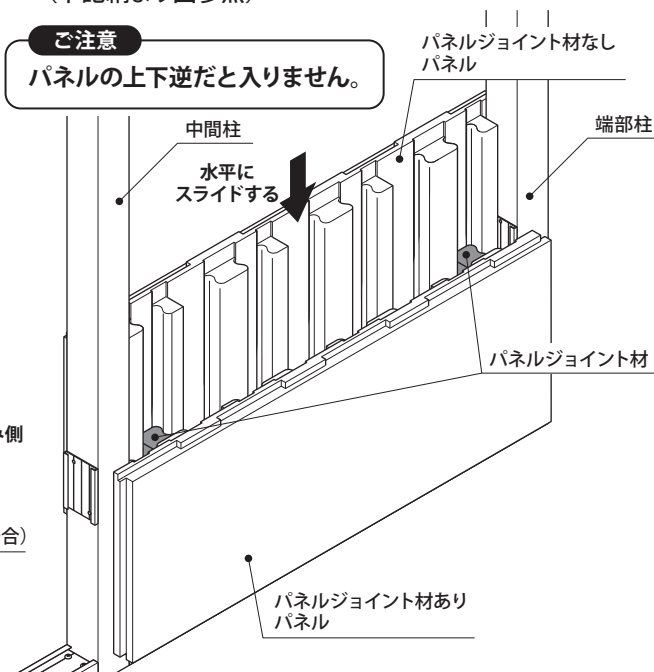
※片側埋込み仕様以外の場合、パネル隙間埋め材は必要ありません。

パネルジョイント材ありパネル納まり図

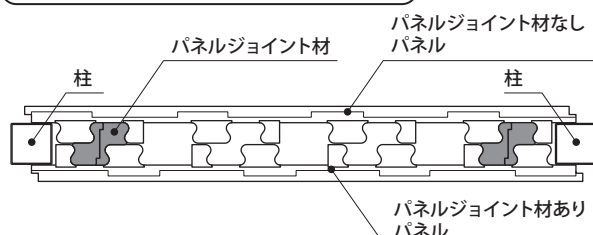


- ③先程抜いたパネルジョイント材なしパネルを、上から水平にスライドさせてパネルジョイント材に入れてください。(下記納まり図参照)

ご注意
パネルの上下逆だと入りません。



パネルジョイント材あり・なしパネル納まり図



3.本体の施工〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

4.横棧W08 (W04) の組付

ご注意

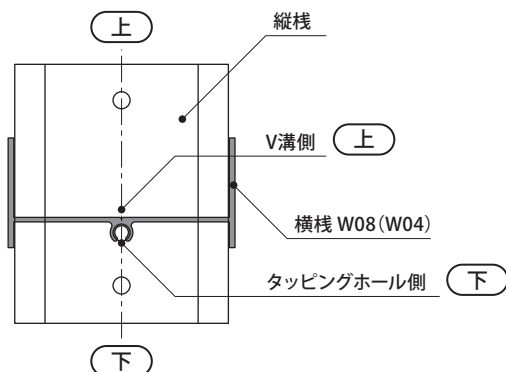
インターホン・照明を取り付ける場合は必ずP.28・29を参照し、パネルの組み付けと同時に配線を行ってください。
(パネルの組み付け後では、配線はできません。)

ご注意

横棧W08 (W04) には、横棧W08 (W04) と横棧上W08 (W04) があります。
また、それぞれに向きの上下がありますので、間違わないようにしてください。

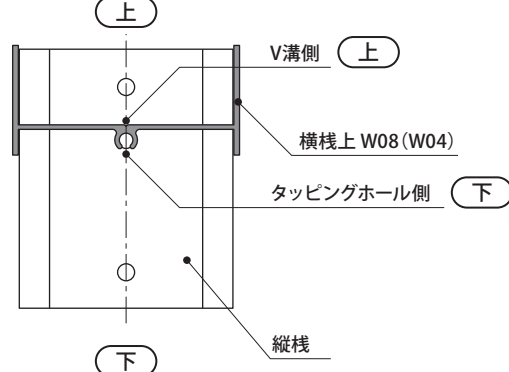
横棧W08 (W04) 縦断面図

部材名	梱包名称
横棧W08	横棧W08 (1本入) セット
横棧W04	横棧W04 (1本入) セット



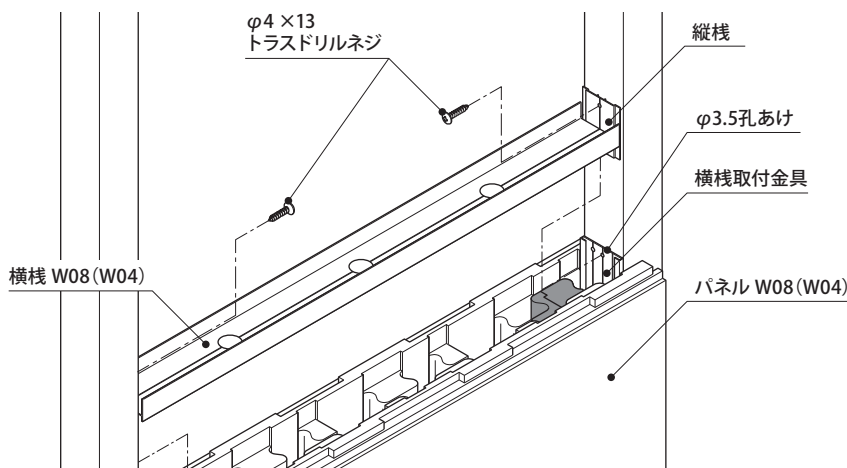
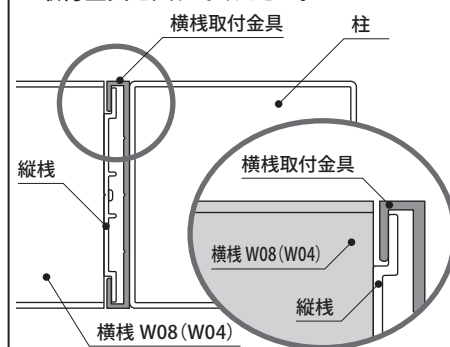
横棧上W08 (W04) 縦断面図

部材名	梱包名称
横棧上W08	A型横棧上・ベース材W08セット
横棧上W04	A型横棧上・ベース材W04セット



横棧W08 (W04)・横棧取付金具納まり図

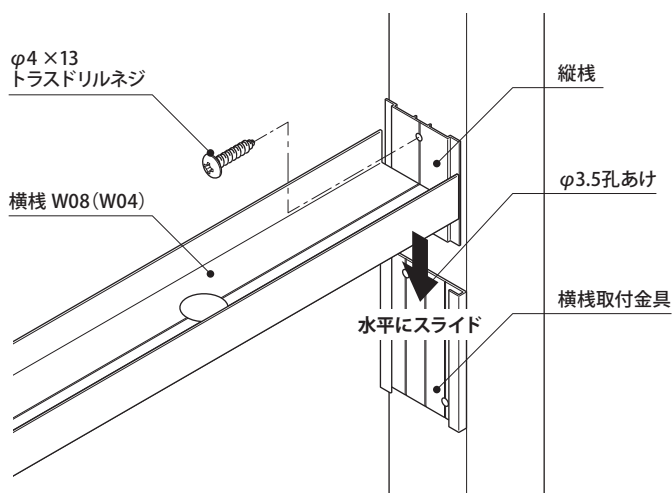
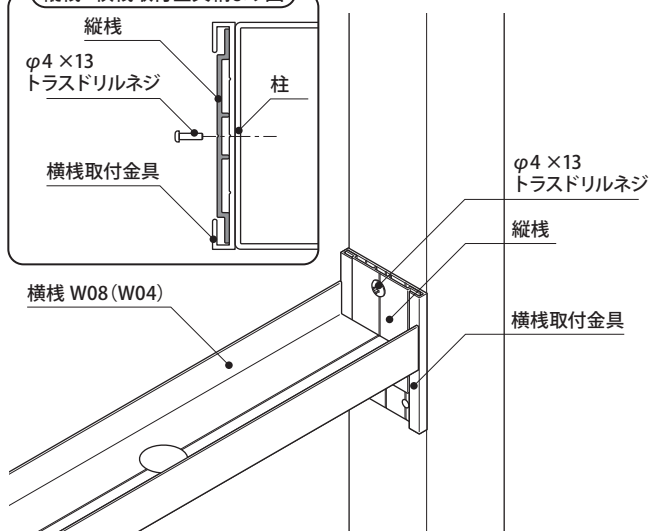
横棧W08 (W04) と縦棧の隙間に、横棧取付金具を入れてください。



①最上部以外のパネルは横棧W08 (W04) で固定します。
横棧W08 (W04) の上下を確認し柱間に上から水平に
スライドさせ、柱に付いている横棧取付金具に入れて
ください。(右納まり図参照)

②縦棧にあいている孔に合わせて柱にφ3.5の孔をあけ、
φ4×13トラスドリルネジで取り付けてください。

縦棧・横棧取付金具納まり図

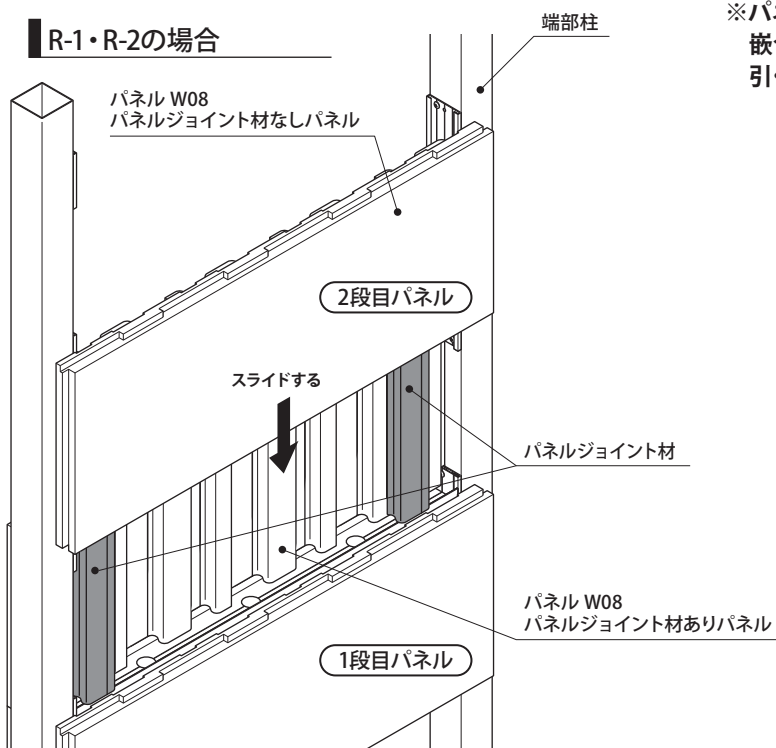


3.本体の施工〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

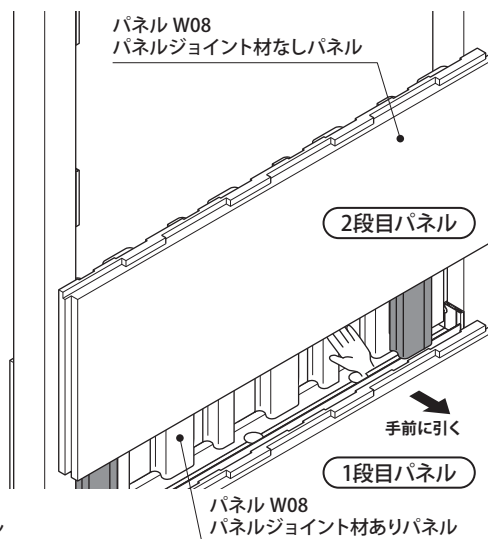
5.パネル2段目以降の組付

- ①門袖R-1・R-2の場合は、W04はW04パネル、W08はW08パネルを1段目と同様に組み付けてください。 **参 照** P.7・8
 ②1段目と同じようにパネルの上下を確認し、パネルジョイントありパネルを先に手で押さえ下パネルに載せ（嵌合）、もう1つのパネルを上からスライドさせてください。

R-1・R-2の場合



※パネルは、上下嵌合になっています。
 嵌合直前に、パネルセンター下部を少し手前に引くと入りやすくなります。

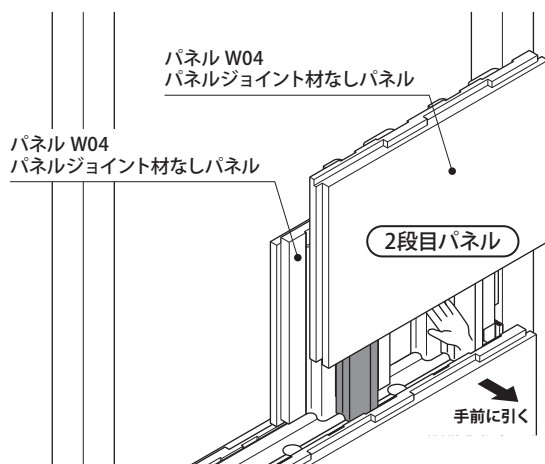


ご注意

強く引きすぎないでください。
 破損する可能性があります。

- ③門袖R-3・連結タイプの場合は、千鳥張りにW04 (W08) を組み付けてください。

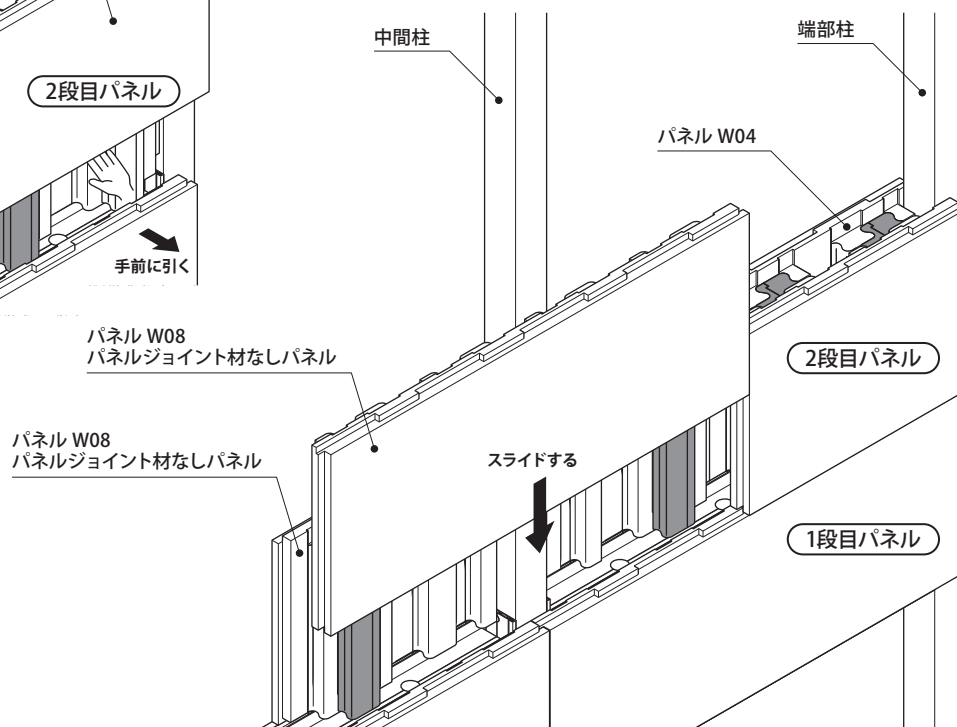
R-3・連結の場合



ご注意

開き窓パネルを取り付ける場合は、パネルの組み替えが必要になります。「開き窓パネル取付説明書」をご覧ください。

- ④組み付けたパネルW04の隣に、パネルW08を同じように組み付けてください。



3.本体の施工〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

6.横棧上W08 (W04) の組付

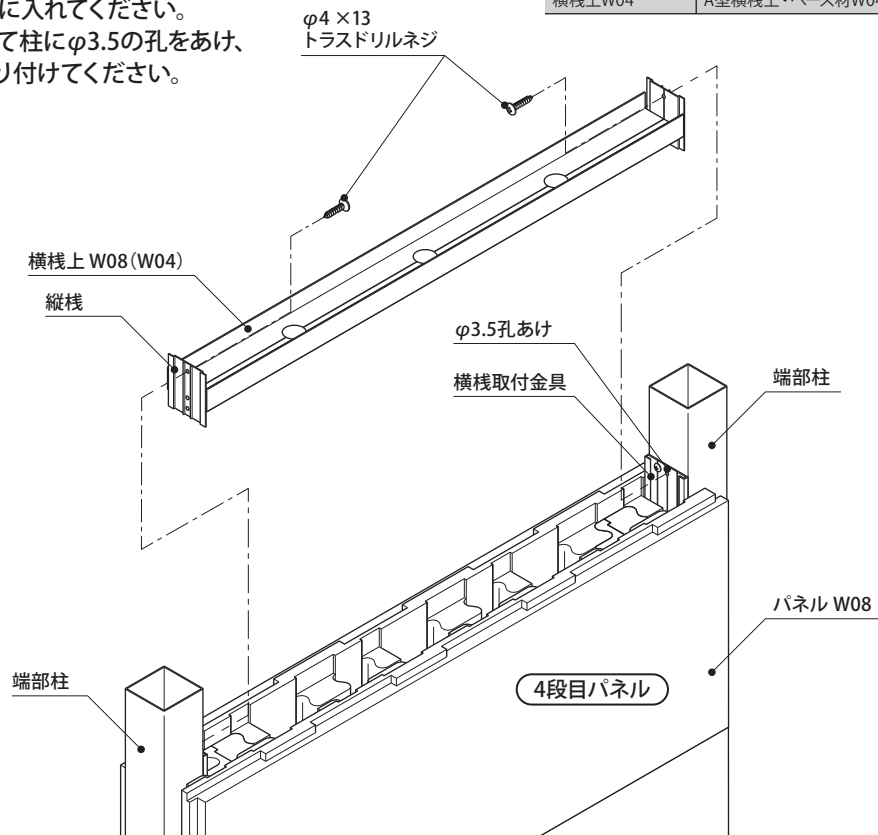
- ①4段目のパネルは横棧上W08 (W04) で固定します。
横棧上W08 (W04) の上下を確認し柱間に上から水平にスライドさせ、
柱に付いている横棧取付金具に入れてください。
- ②縦棧にあいている孔に合わせて柱にφ3.5の孔をあけ、
φ4×13トラスドリルネジで取り付けてください。

参 照

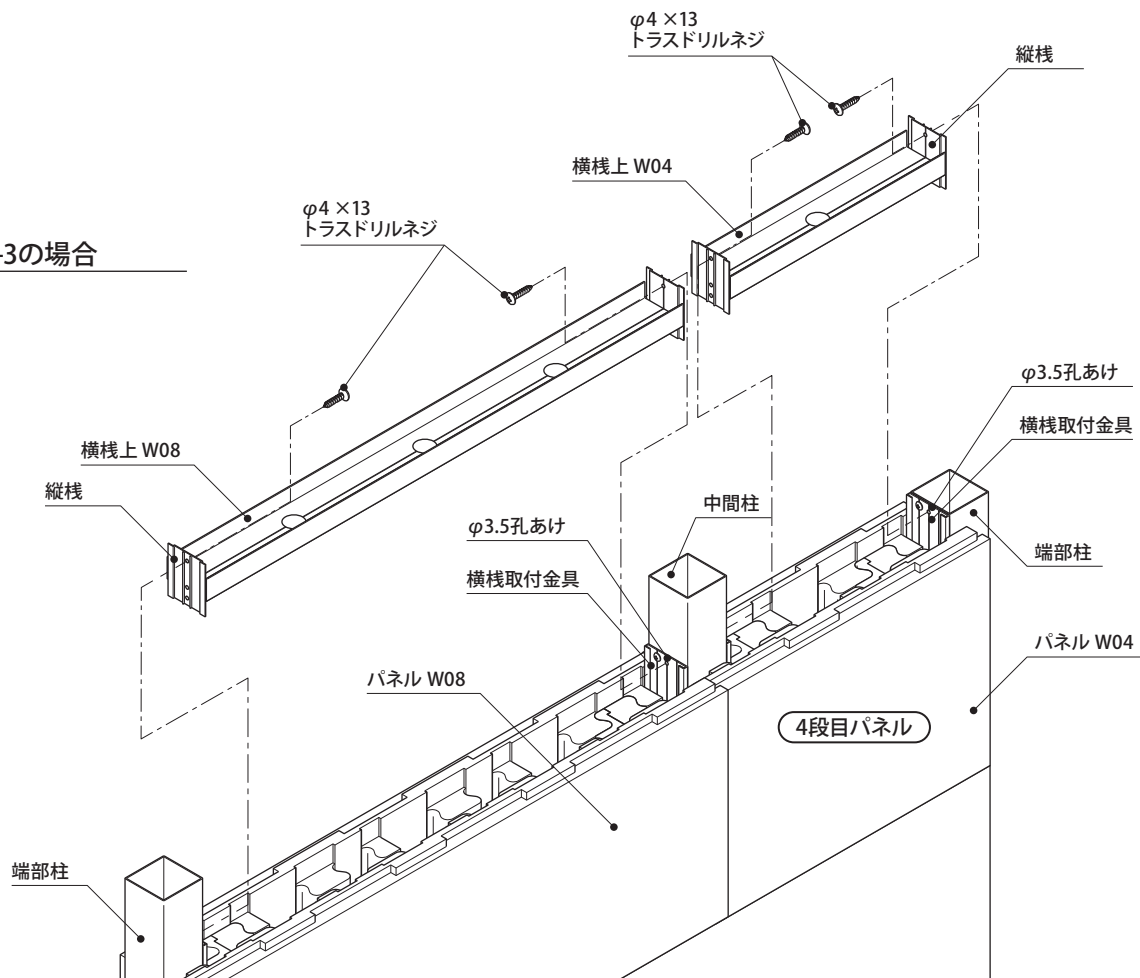
横棧上W08 (W04) の向きは
P.16を参照してください。

部材名	梱包名称
横棧上W08	A型横棧上・ベース材W08セット
横棧上W04	A型横棧上・ベース材W04セット

R-1・R-2の場合



R-3の場合

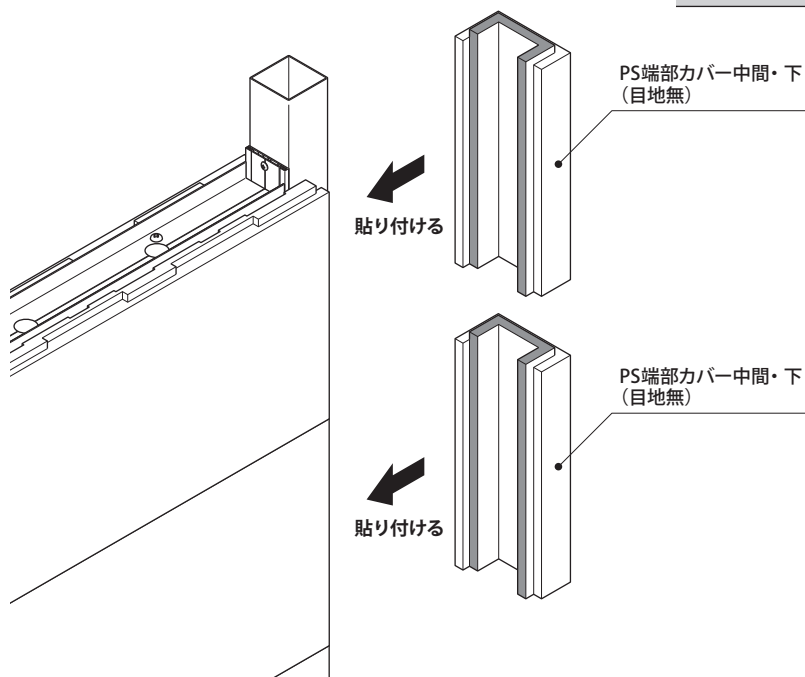


3.本体の施工〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

7.PS端部カバー中間・下（無地無）の貼付け

- ①PS端部カバー中間・下（目地無）の接合部に接着剤を塗り、パネル上面・側面に貼り付けてください。
- ②反対側も同じように貼り付けてください。

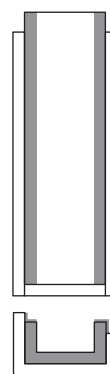
部材名	梱包名称
PS端部カバー中間・下（目地無）	PS端部カバー中間・下 現場塗装仕上用（目地無）（2個入）セット
	PS端部カバー中間・下 現場貼り仕上用（目地無）（2個入）セット
接着剤	接着剤セット



●接着剤塗布場所について

同梱のヘラで接着剤を全体に薄くのばしてください。

PS端部カバー下（目地無）



■ 接着剤塗布面

ご注意

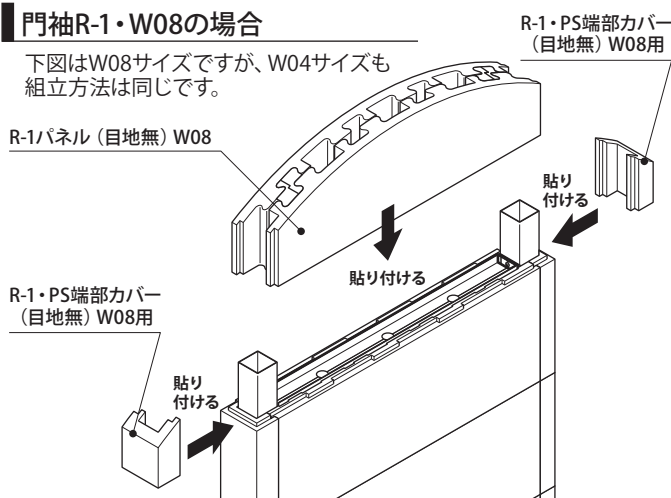
接着剤が表面にはみ出ないように注意してください。
はみ出した場合はすぐに拭き取ってください。

※指定接着剤以外は使用しないでください。

8.Rパネル、R-1・2PS端部カバー（無地無）の貼付け

門袖R-1・W08の場合

下図はW08サイズですが、W04サイズも組立方法は同じです。

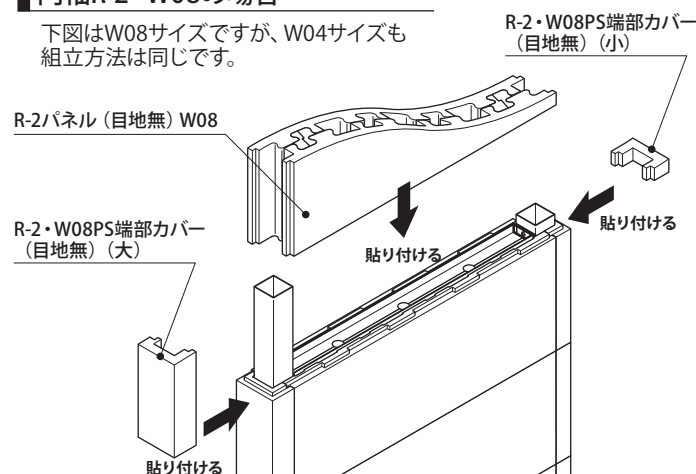


部材名	梱包名称
R-1パネル（目地無）W08	R-1パネル 現場塗装仕上用（目地無）W08（1セット入）セット
	R-1パネル 現場貼り仕上用（目地無）W08（1セット入）セット
R-1・PS端部カバー（目地無）W08用	R-1パネル 現場塗装仕上用（目地無）W08（1セット入）セット
	R-1パネル 現場貼り仕上用（目地無）W08（1セット入）セット
R-2パネル（目地無）W08	R-2パネル 現場塗装仕上用（目地無）W08（1セット入）セット
	R-2パネル 現場貼り仕上用（目地無）W08（1セット入）セット
R-2・W08PS端部カバー（目地無）（大・小）	R-2パネル 現場塗装仕上用（目地無）W08（1セット入）セット
	R-2パネル 現場貼り仕上用（目地無）W08（1セット入）セット
接着剤	接着剤セット

- ①Rパネル（目地無）とPSパネルの接合部に接着剤を塗り、重ねながら貼り付けてください。
- ②R-1・端部カバー（目地無）W08用・R-2・W08PS端部カバー（目地無）（小）も端部カバーと同じように貼り付けてください。

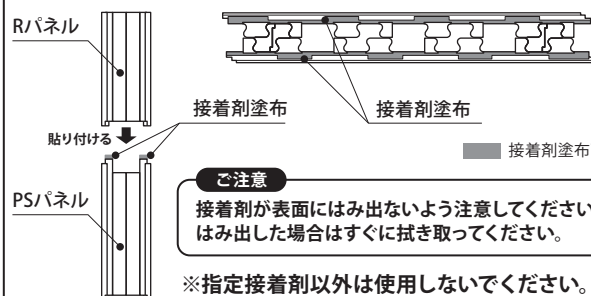
門袖R-2・W08の場合

下図はW08サイズですが、W04サイズも組立方法は同じです。



●接着剤塗布場所について

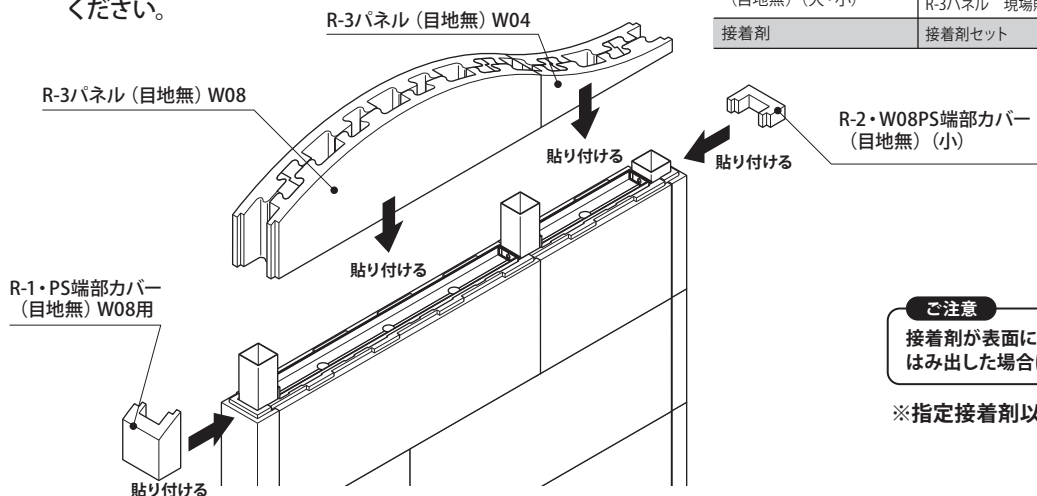
同梱のヘラで接着剤を全体に薄くのばしてください。



3.本体の施工〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

門袖R-3・W12の場合

- ①P.18を参考にRパネル（目地無）とPSパネルの接合部に接着剤を塗り、重ねながら貼り付けてください。
- ②R-1・端部カバー（目地無）W08用・R-2・W08PS端部カバー（目地無）（小）も端部カバーと同じように貼り付けてください。



部材名	梱包名称
R-3パネル（目地無）W08・W04	R-3パネル 現場塗装仕上用（目地無）W12（1セット入）セット R-3パネル 現場貼り仕上用（目地無）W12（1セット入）セット
R-1・PS端部カバー（目地無）W08用	R-3パネル 現場塗装仕上用（目地無）W12（1セット入）セット R-3パネル 現場貼り仕上用（目地無）W12（1セット入）セット
R-2・W08PS端部カバー（目地無）（大・小）	R-3パネル 現場塗装仕上用（目地無）W12（1セット入）セット R-3パネル 現場貼り仕上用（目地無）W12（1セット入）セット
接着剤	接着剤セット

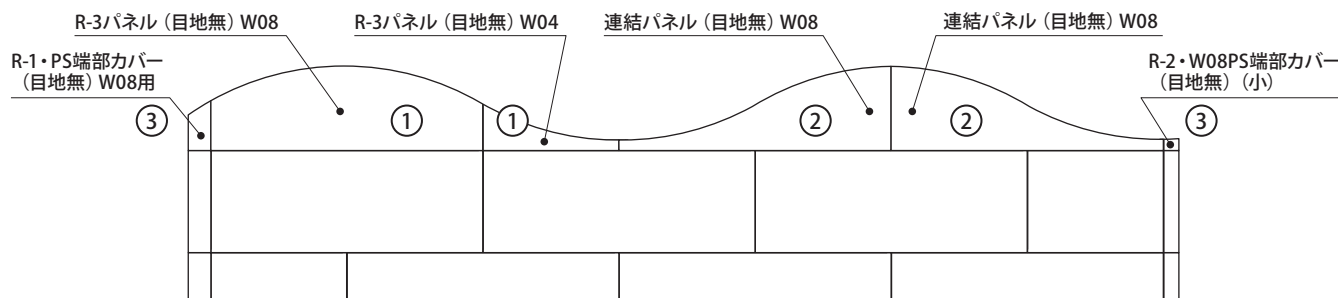
ご注意

接着剤が表面にはみ出ないように注意してください。
はみ出した場合はすぐに拭き取ってください。

※指定接着剤以外は使用しないでください。

門袖R-3+Rパネル連結（2スパン）の場合

- ①上記の「門袖R-3・W12の場合」を参考に、R-3パネル（目地無）W08・W04をPSパネルの接合部に接着剤を塗り、重ねながら貼り付けてください。参照 P.19
- ②連棟パネル（目地無）W08を、下図のように向きを合わせて貼り付けてください。3スパン以上の連結も同様の内容です。
- ③両端にR-1・端部カバー（目地無）W08用・R-2・W08PS端部カバー（目地無）（小）を端部カバーと同じように貼り付けてください。

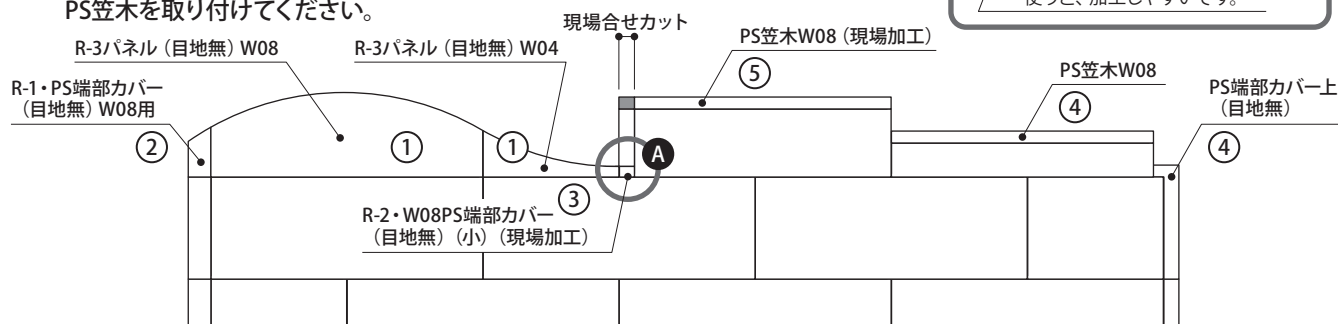


部材名	梱包名称
連結パネル（目地無）W08	R-連結パネル 現場塗装仕上用（目地無）W08（1セット入）セット R-連結パネル 現場貼り仕上用（目地無）W08（1セット入）セット
接着剤	接着剤セット

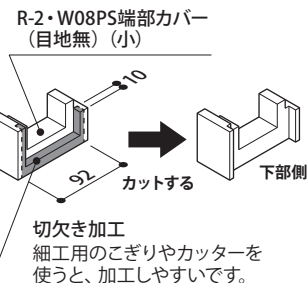
※R-3パネルとR-3PS端部カバーは、門袖R-3・W12の場合の表を参照してください。

門袖R-3+A型H12連棟（2スパン）の場合

- ①上記の「門袖R-3・W12の場合」を参考に、R-3パネル（目地無）W08・W04をPSパネルの接合部に接着剤を塗り、重ねながら貼り付けてください。
- ②下図のようにR-3パネル（目地無）W08の端部にR-1・PS端部カバー（目地無）W08用を貼り付けてください。3スパン以上の連結も同様の内容です。
- ③右のA部詳細図のようにR-2・W08PS端部カバー（目地無）（小）を加工してR-3パネル（目地無）W04の端部に貼り付けてください。
- ④A型本体の取付説明書を参考にPS端部カバー上とPS笠木を取り付けてください。
- ⑤R-2・W08PS端部カバー（目地無）（小）と重なる部分の寸法を測り、カットしてPS笠木を取り付けてください。



A部詳細図（現場加工）

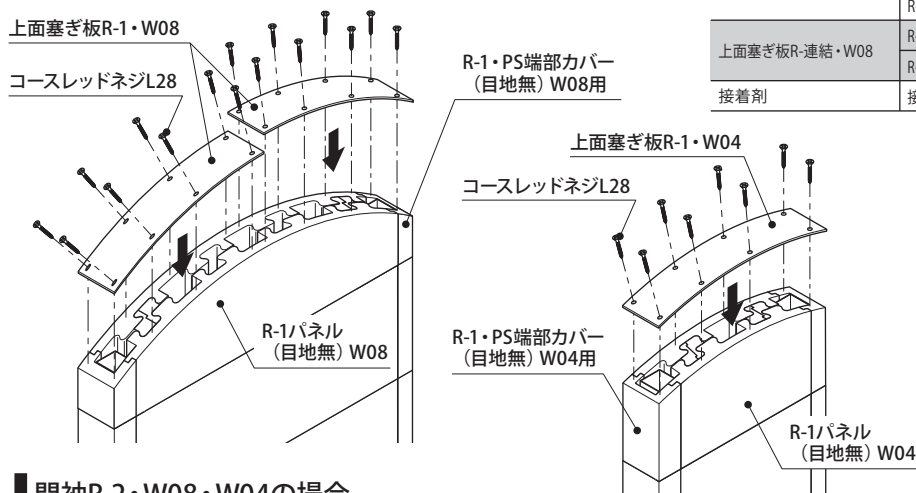


3.本体の施工〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

9.上面塞ぎ板の組付

門袖R-1・W08・W04の場合

- ①Rパネル（目地無）とPS端部カバー（目地無）の上面に接着剤を塗り、上面塞ぎ板を貼り付けてください。
- ②下図のようにコースレッドネジL28で上面塞ぎ板をRパネル（目地無）と端部カバー（目地無）に固定してください。



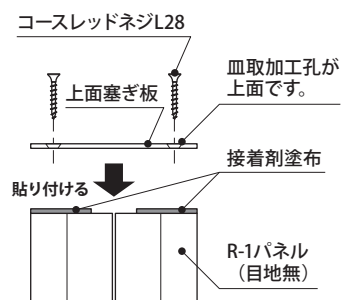
部材名	梱包名称
上面塞ぎ板R-1・W08・W04	R-1パネル 現場塗装仕上用（目地無）W08・W04（1セット入）セット R-1パネル 現場貼り仕上用（目地無）W08・W04（1セット入）セット
上面塞ぎ板R-2・W08・W04	R-2パネル 現場塗装仕上用（目地無）W08・W04（1セット入）セット R-2パネル 現場貼り仕上用（目地無）W08・W04（1セット入）セット
上面塞ぎ板R-3・W12	R-3パネル 現場塗装仕上用（目地無）W08・W04（1セット入）セット R-3パネル 現場貼り仕上用（目地無）W08・W04（1セット入）セット
上面塞ぎ板R-連結・W08	R-連結パネル 現場塗装仕上用（目地無）W08（1セット入）中間用セット R-連結パネル 現場貼り仕上用（目地無）W08（1セット入）中間用セット
接着剤	接着剤セット

●上面塞ぎ板のつなぎ目について

※上面の塞ぎ板のつなぎ目は、約1mm程隙間をあけてください。



●上面塞ぎ板の貼付け方



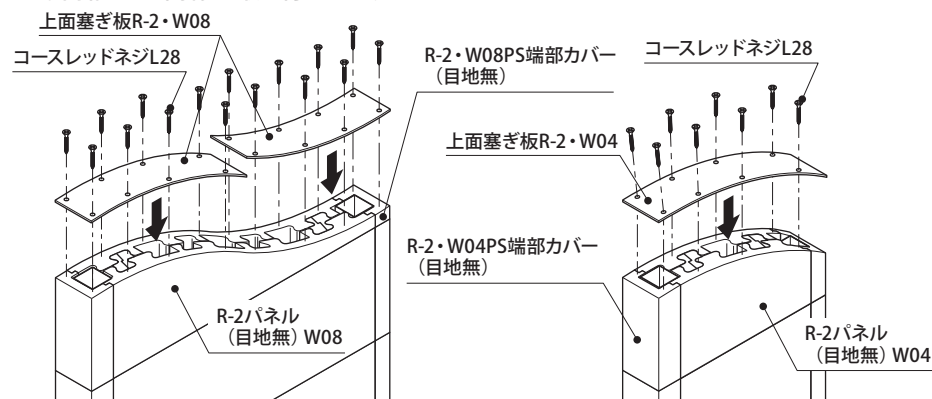
●ご注意

接着剤が表面にはみ出ないように注意してください。はみ出した場合はすぐに拭き取ってください。

※指定接着剤以外は使用しないでください。

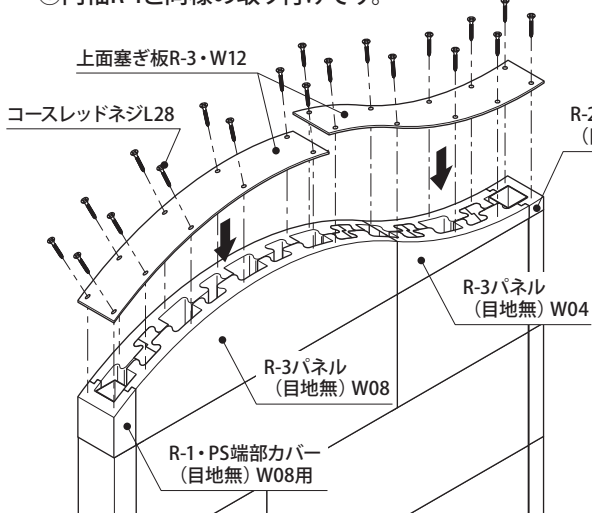
門袖R-2・W08・W04の場合

- ①門袖R-1と同様の取り付けです。



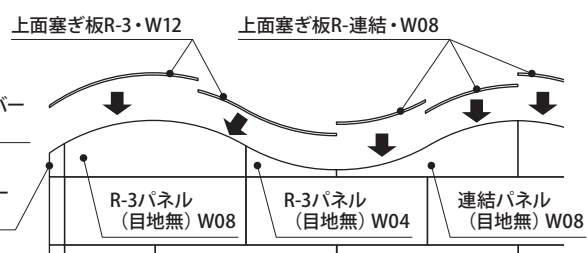
門袖R-3・W12の場合

- ①門袖R-1と同様の取り付けです。



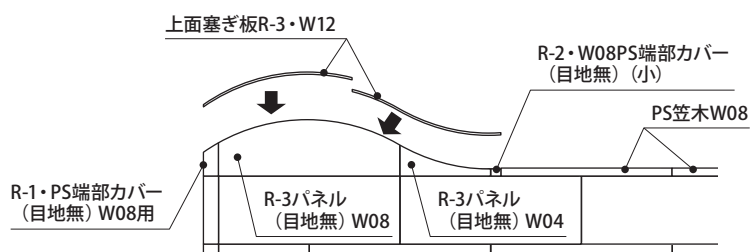
門袖R-3+Rパネル連結（2スパン）の場合

- ①Rパネル連結部分は門袖R-2と同様の取り付けです。



門袖R-3+A型H12連結（2スパン）の場合

- ①門袖R-3と同様の取り付けです。PS笠木には上面塞ぎ板は取り付けません。



3.本体の施工〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用〉

10. 目地テープの貼付け（目地無の場合）

上面塞ぎ板・Rパネル・PSパネルW08（W04）・R-PS端部カバー・PS端部カバー中間・下の接合部に
目地テープを貼り付けてください。

※現場貼り仕上の場合、目地テープの貼付けは必要ありませんが、部分的に
塗装がある場合は目地テープが必要です。

※現場仕上を塗装する場合、柱に塗料がつかないように養生してください。

又、目地テープの段差が出ないように2度塗りしてください。

（1度塗りですと乾燥後に、目地テープの段差が出る場合があります。）

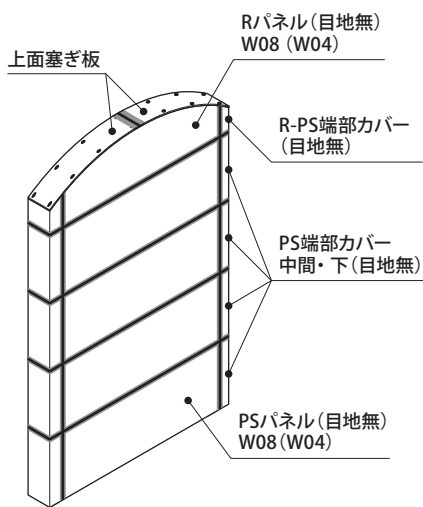
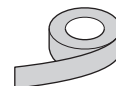
※部品生産の都合上、接合部に隙間・段差が発生する場合があります。

この場合は目地テープの上からコーキング（変成シリコンノンブリードタイプ）
にて隙間・段差をなくしてください。

部材名	梱包名称
目地テープ	目地テープセット

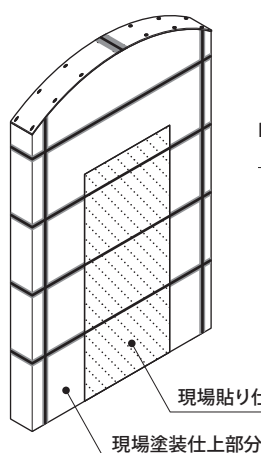
目地テープ

内側に粘着剤が付いて
います。



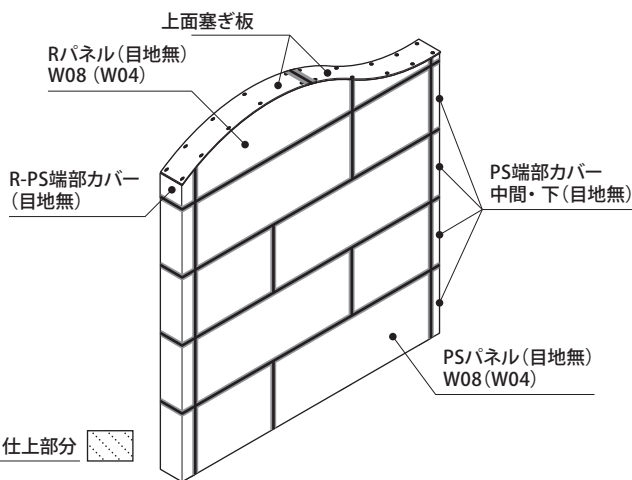
独立仕様

R-1・R-2の場合



現場塗装仕上部分

目地テープ

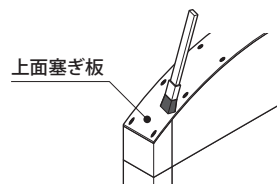


連結仕様

R-3・連結の場合

※PS硬質笠木を取り付ける場合は、上面塞ぎ板に汎用プライマーを塗ったり、
仕上塗装をしないでください。硬質笠木が取り付けにくくなります。

※PS硬質笠木を取り付けない場合は、上面塞ぎ板に汎用プライマー塗って
仕上塗装を行ってください。



●下の図のように各部材の接合部に目地テープを貼り付けてください。

●縦・横の目地テープの上からパネル接合部にコーキング材を塗ってください。

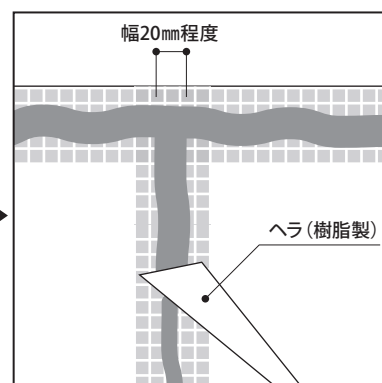
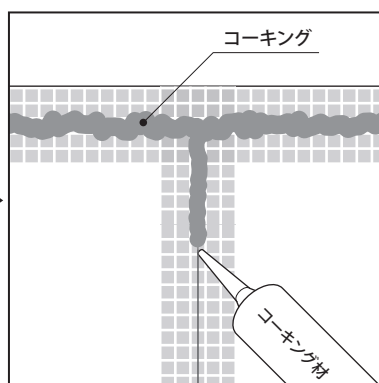
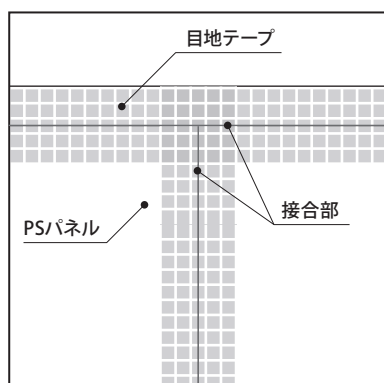
※この時に段差や隙間は埋めてください。また、コーキング材はノンブリードタイプをご使用ください。

●コーキングを盛った部分をヘラで押さえ、平滑に広げてください。

※コーキング材の拡げ幅は20mm程度になるようにしてください。

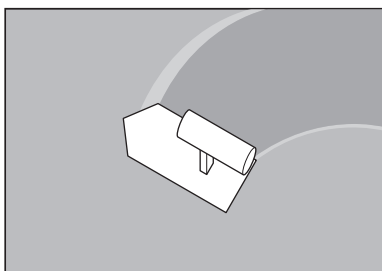
※金属製のヘラはPS本体を傷める可能性がありますので、樹脂製のヘラをご利用ください。

※現場貼り仕上で部分塗装の場合、塗装部分に目地テープ貼り付け後、コーキングを塗り、
汎用プライマーを塗布してください。



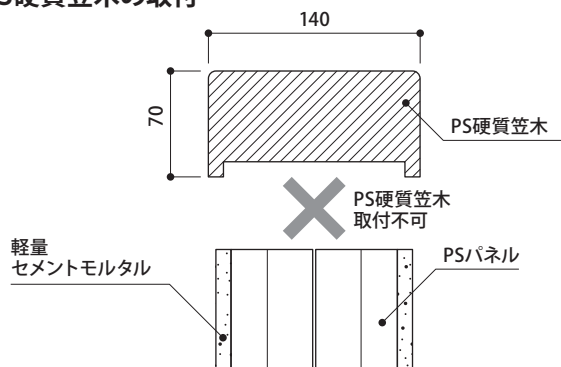
3.本体の施工〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用〉

11. 軽量セメントモルタル仕上をする場合（現場塗装仕上の場合）

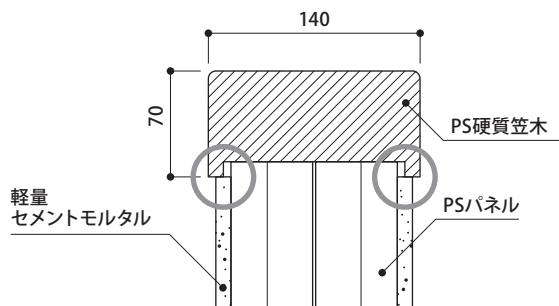


- 部材の接合部に目地テープを貼り付け、コーキング材（ノンブリード）を塗ってください。（P.22参照）
- 軽量セメントモルタルを塗厚5～10mm程度で仕上げてください。
※軽量セメントモルタルはJASS15M-102に適合するものを推奨します。
- 軽量セメントモルタルの施工は、各メーカーの施工説明書を確認しておこなってください。
※当社汎用プライマーの上に、各軽量セメントメーカーの下地処理剤を塗布することは避けてください。
※軽量セメントモルタルの上に、重量タイル等の貼り付けは避けてください。

●PS硬質笠木の取付



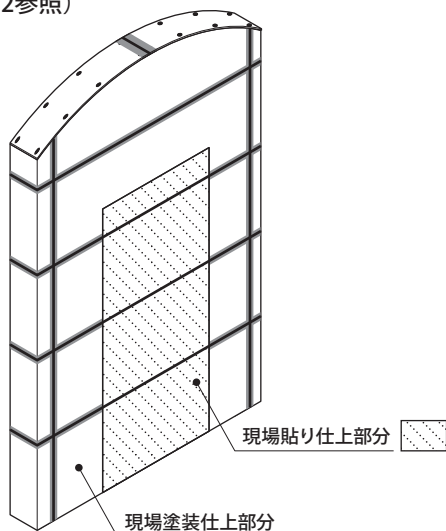
※軽量セメントモルタル仕上の場合、PS硬質笠木は取り付けできません



※軽量セメントモルタル仕上でPS硬質笠木を取り付ける場合は、先にPS硬質笠木を取り付けて養生をおこない、軽量セメントで仕上げてください。

12. 汎用プライマーの塗装（現場貼り仕上を部分的に塗装仕上をする場合や、軽量セメントモルタル仕上をする場合）

- 塗装仕上をする部分・軽量セメントモルタル仕上をする部分の各部材の接合部には、目地テープを貼りコーキング材を塗り付けてください。（P.22参照）



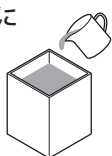
部材名	梱包名称
汎用プライマー（100ml） 刷毛	汎用プライマー（100ml）・刷毛セット
汎用プライマー（1.5kg）	汎用プライマーセット（1.5kg）
汎用プライマー（15kg）	汎用プライマーセット（15kg）

ご注意

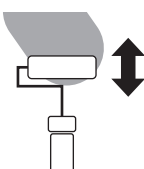
現場貼り仕上用にて部分的に塗装仕上をする場合、当社規格の汎用プライマーの塗布が必要です。
当社汎用プライマー塗布後、塗装仕上をしてください。そのまま塗装したり、当社以外の汎用プライマーを使用しないでください。剥離の原因になります。

- 付属の汎用プライマー100mlで約0.2～0.3㎡塗布できます。（アクセントパネル小口面（30mm）だと約7～10m塗布できます。）
- 汎用プライマー1.5kgで約2～3㎡塗布できます。
- 汎用プライマー15kgで約20～30㎡塗布できます。
塗装する面積に応じて汎用プライマーセット（100ml・1.5kg・15kg）から選択してください。
- 1.5kg・15kgの汎用プライマーセットには刷毛は付属されていません。別途手配してください。

汎用プライマーは骨材が大きく粘度があります。温度により塗装しづらい場合もあります。
清水もしくは水道水で0～3%に希釈し、十分に攪拌してご使用ください。
1.5kgの場合は清水0～45cc
15kgの場合は清水0～0.4ℓ



汎用プライマーは擦り付けるように下地になじませ、塗材を置いてくる要領で厚みを持たせて、塗布してください。



塗布した汎用プライマーがしっかり乾燥したら塗装仕上・軽量セメントモルタル仕上をおこなってください。

3.本体の施工〈現場塗装仕上用〉

13.PS硬質笠木の取付

部材名	梱包名称
PS硬質笠木A・B・C	PS硬質笠木セット

PS硬質笠木
取付不可

※現場貼り仕上の場合、タイル等を
貼り付けるとPS硬質笠木は取り付け
できません。

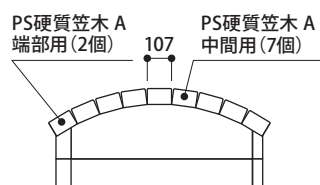
PS硬質笠木
取付不可

※アクセントパネルを貼り付けると、
PS硬質笠木は取り付けできません。

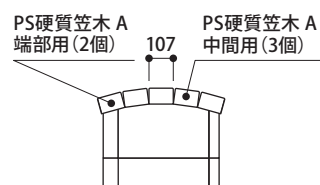
①PS硬質笠木の仮置きレイアウト

PS硬質笠木を取り付ける前に、下図のように仮置きしてレイアウトを確認してください。両端は端部用になります。各タイプでPS硬質笠木の寸法が異なります。取り付け前に確認してください。

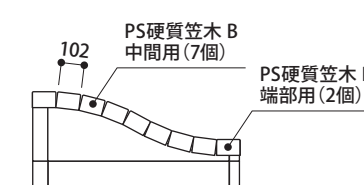
門袖R-1・W08の場合



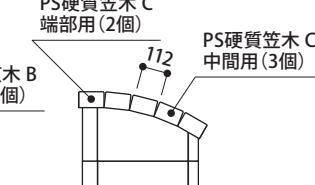
門袖R-1・W04の場合



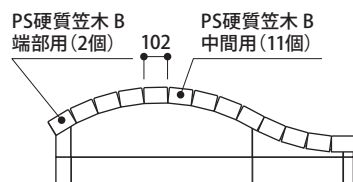
門袖R-2・W08の場合



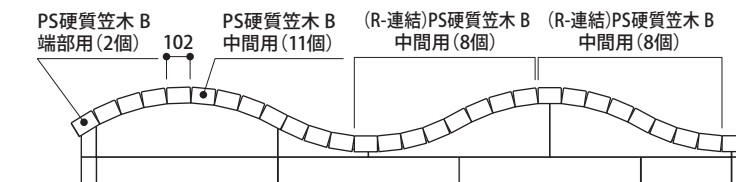
門袖R-2・W04の場合



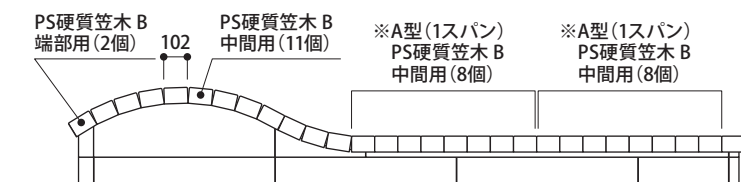
門袖R-3・W12の場合



門袖R-3+Rパネル連結 (2スパン) の場合



門袖R-3+A型H12連結 (2スパン) の場合



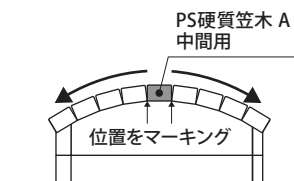
※A型連結スパン部分のPS硬質笠木は、
PS硬質笠木セットのBタイプ中間用と
共通です。

②PS硬質笠木位置のマーキング

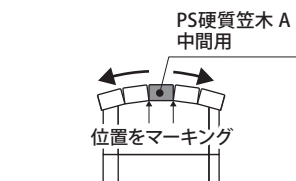
PS硬質笠木の配置を決めたら中央のPS硬質笠木の位置をマーキングしてください。
取り付けは中央の笠木から両サイドへ振り分けに行います。

※端部より取り付けを始めると、両端の笠木のはみ出し寸法が大きく違う場合があります。

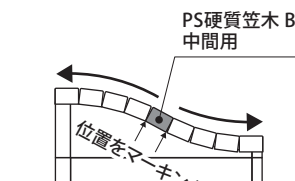
門袖R-1・W08の場合



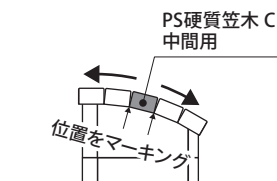
門袖R-1・W04の場合



門袖R-2・W08の場合

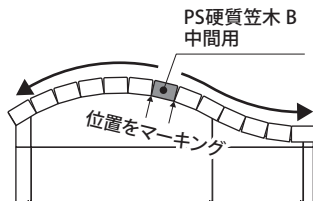


門袖R-2・W04の場合

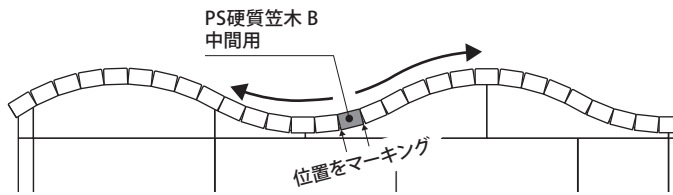


3.本体の施工〈現場塗装仕上用〉

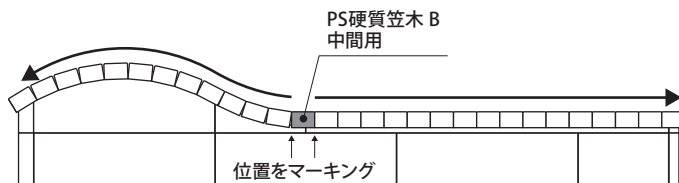
門袖R-3・W12の場合



門袖R-3+Rパネル連結 (2スパン) の場合



門袖R-3+A型H12連結 (2スパン) の場合

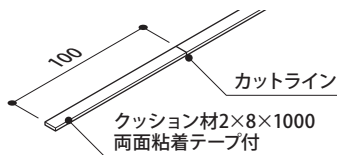


参 照

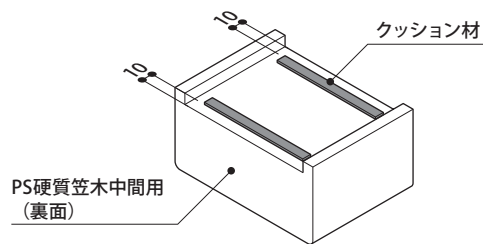
取り付け方法は
P.26の⑦を参照してください。

③PS硬質笠木の取付

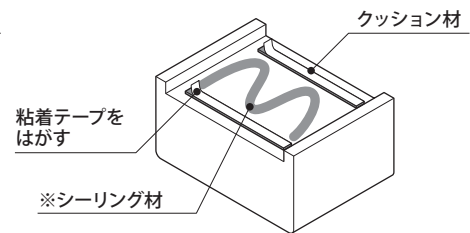
- ①クッション材2×8×1000を
100mmにカットしてください。



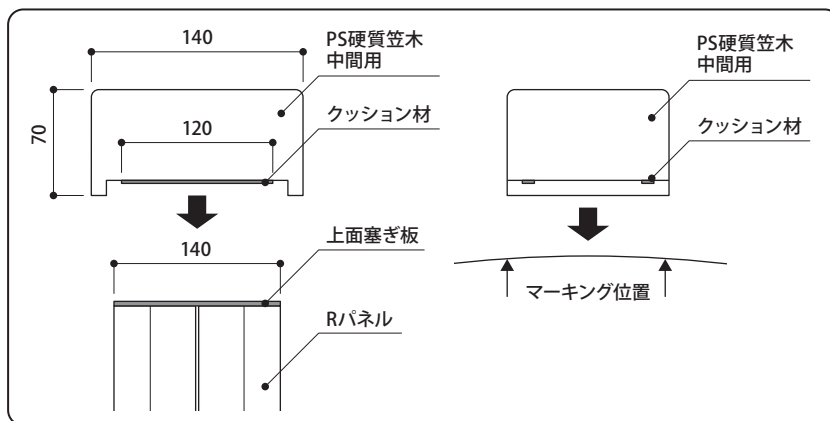
- ②PS硬質笠木の裏面にクッション材の
片面の粘着テープをはがして、PS硬質
笠木中間用の端から10mmぐらいの位置
に2本貼り付けてください。



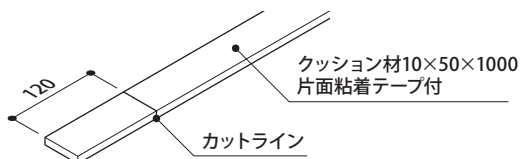
- ③にクッション材の間にシーリング材を
塗布し、クッション材の粘着テープを
はがして、Rパネル上面のマーキング
した位置に貼りつけてください。



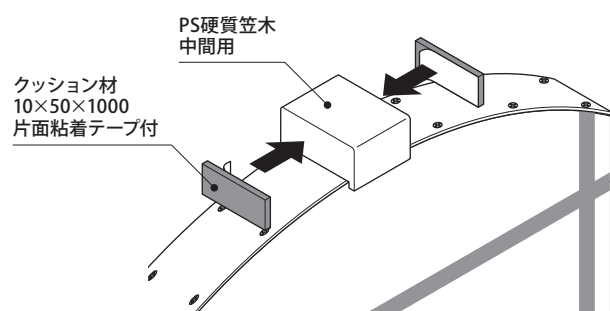
※シーリング材は変性シリコーン系
ノンブリードタイプをご使用ください。



- ④クッション材10×50×1000を120mmにカット
してください。

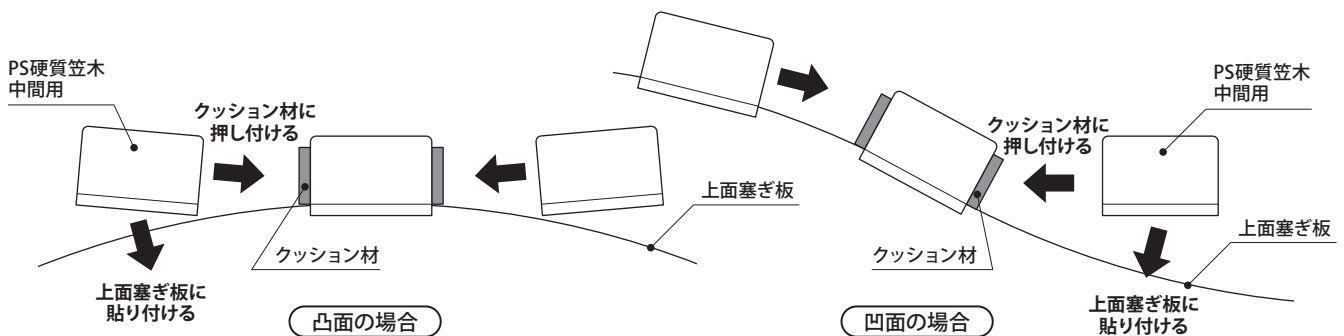
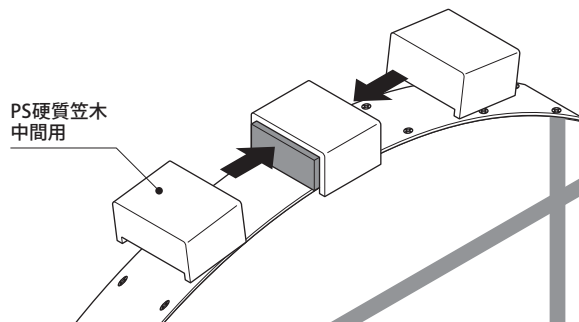


- ⑤クッション材の粘着テープのシールをはがし、取り付けた
PS硬質笠木の両側面に貼り付けてください。

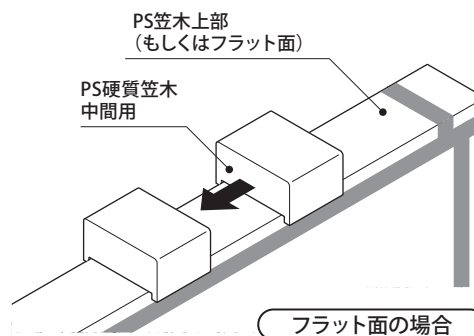


3.本体の施工〈現場塗装仕上用〉

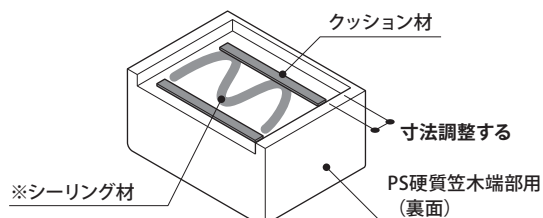
- ⑥①～③を行ったPS硬質笠木を、下図のように先に取り付けたPS硬質笠木の両側面に押し付けながら、上面塞ぎ板に貼り付けてください。
 ※笠木の底面のクッション材のシールをはがして貼り付けてください。



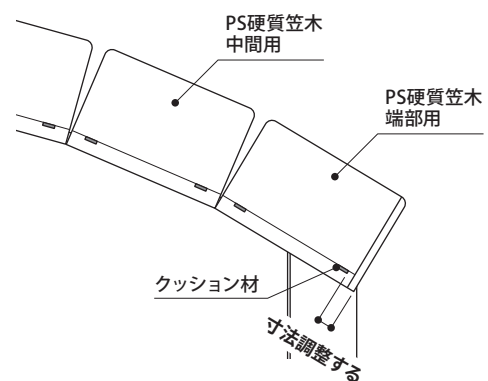
- ⑦PS笠木上部（もしくはフラット面）にPS硬質笠木を取り付ける場合は、右図のように笠木側面のクッション材10×50×1000はいりません。
 PS硬質笠木の側面に並べて貼り付けてください。



- ⑧端部にはPS硬質笠木端部用を、上面塞ぎ板の上にくるように貼り付けてください。
 ※PS硬質笠木端部用の裏面のクッション材の位置は、下図を参照してください。

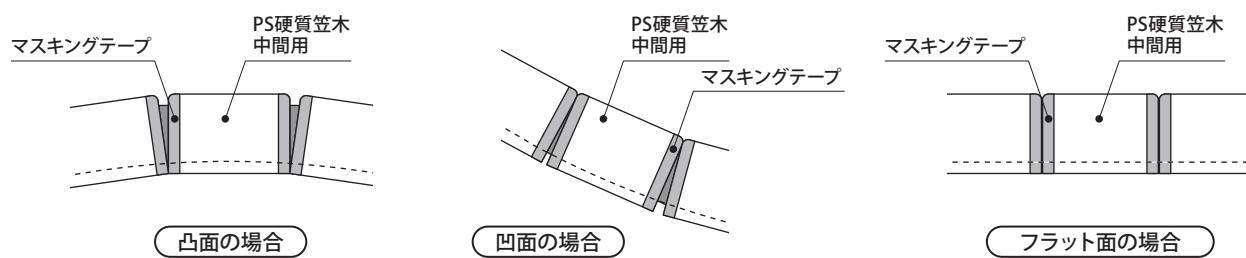


※シーリング材は変性シリコン系ノンブリードタイプをご使用ください。

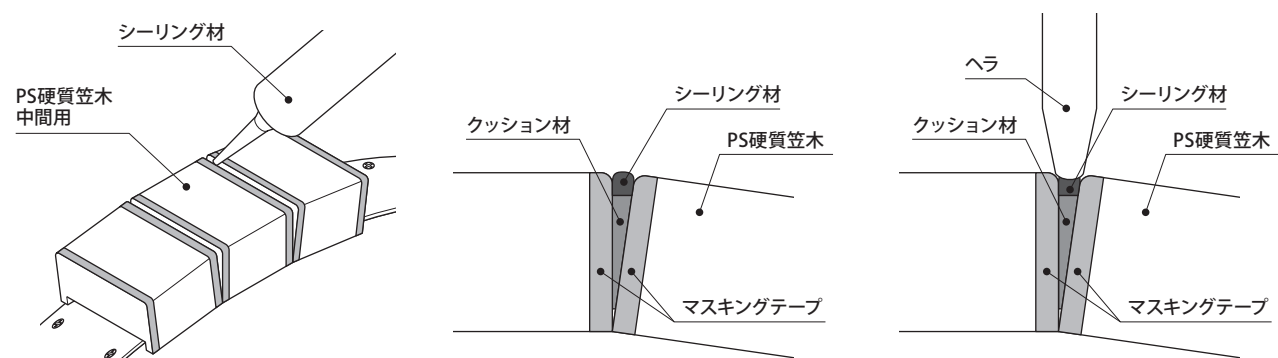


3.本体の施工〈現場塗装仕上用〉

⑨下図のように、PS硬質笠木にマスキングテープを貼り付けてください。



⑩PS硬質笠木の隙間のクッション材の上に、シーリング材（変成シリコーン系ノンブリードタイプ）を充填してください。
下図のような先が丸いヘラで仕上げてください。



仕上げ後は、マスキングテープをはがしてください。

4.照明・インターホンの配線及び取付〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

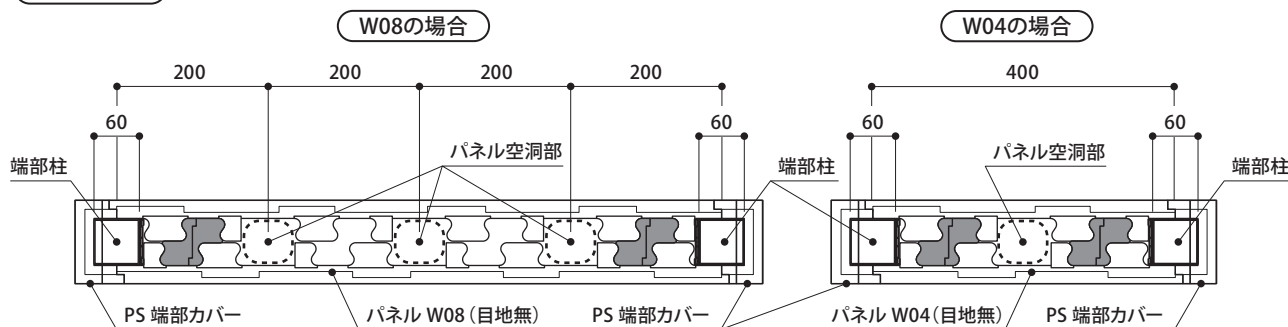
ご注意

配線は本体組み付け時に同時に行ってください。(本体組み付け後では、配線できません。)

1. 取付位置

①照明、インターホン取り付け位置は、配線可能なパネル空洞部になります。(下記参照)

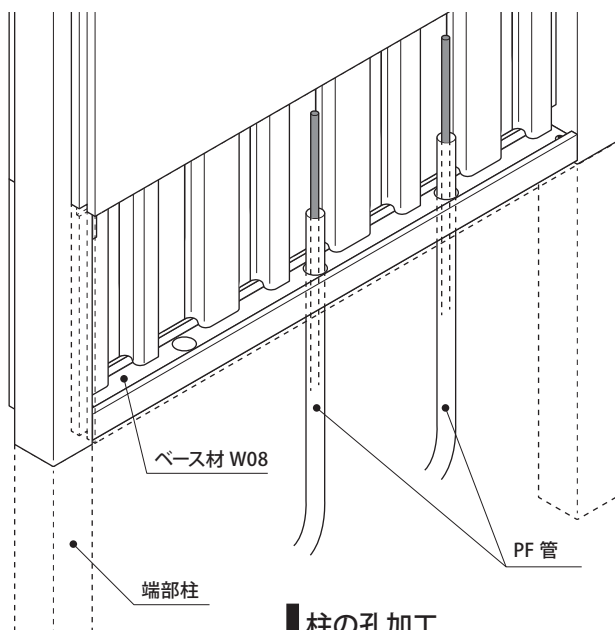
横断面図



2. 配線

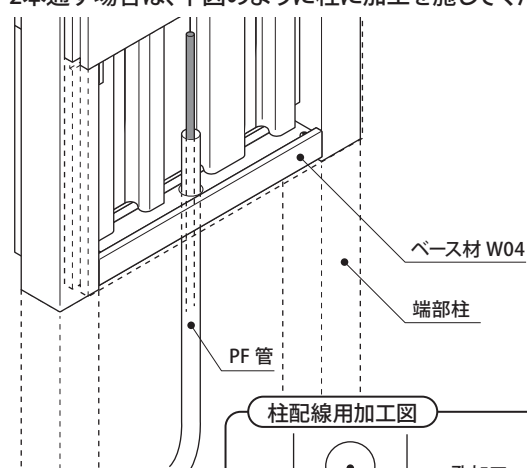
W08の場合

PF管を3本までベース材に通すことが可能です。

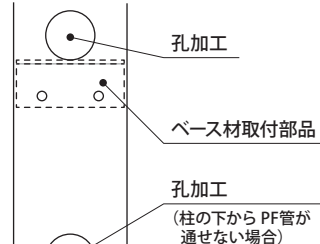


W04の場合

PF管を1本ベース材に通すことが可能です。
2本通す場合は、下図のように柱に加工を施してください。

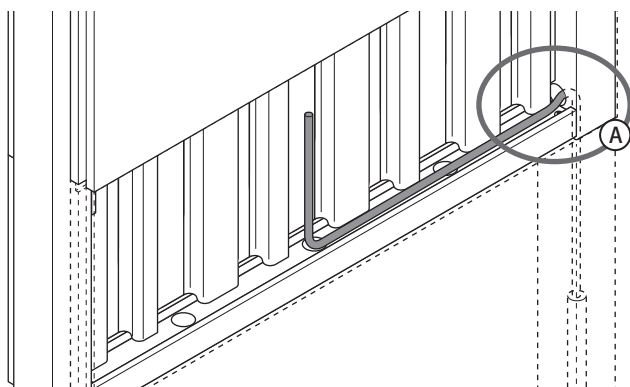


柱配線用加工図



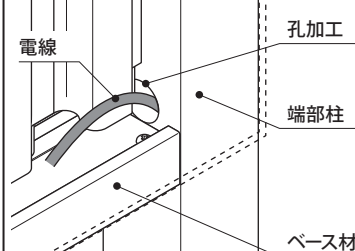
柱の孔加工

ベース材取付部品 (A型横桟上・ベース材W08(W04)セット) を柱につけてから部品の上に孔をあけ、電線を通します。又、柱の下からPF管を通せない場合は、柱にPF管を通す孔をあけて電線を通してください。



A部拡大図

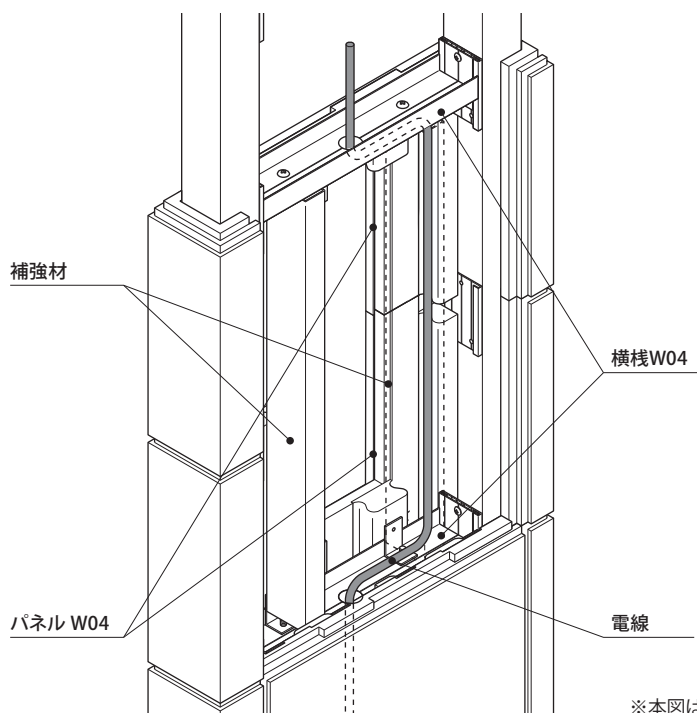
先に孔加工した孔から、電線を通します。



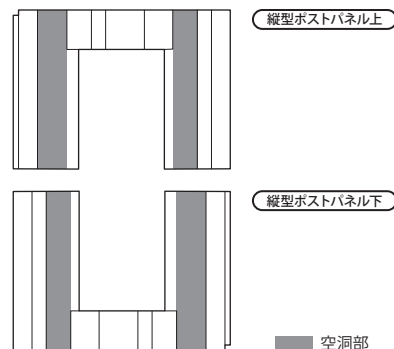
4.照明・インターホンの配線及び取付〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

ポストがある場合

縦方向はパネルの縦空洞部、横方向は横空洞部（横棧部）を利用して配線してください。



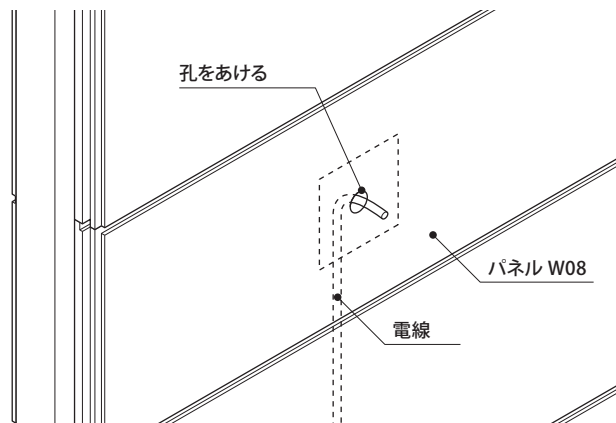
●縦空洞部



※本図はW04縦型ポストの場合です。

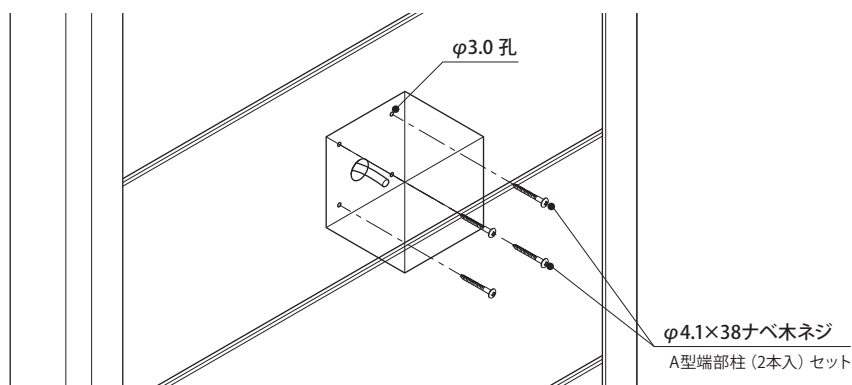
3.電線のパネルからの取出し

- ①照明・インターホン取付け位置からパネルに孔をあけ、電線は外に出しておいてください
(取り付け後は、パネルの外に電線を出すことはできません。)



4.照明・インターホンの取付

- ①照明・インターホンの取付け孔に合わせてパネルにφ3.0の孔をあけ、照明・インターホン取り付けネジ φ4.1×38ナベ木ネジに、発泡材用接着剤（弊社規格の接着剤）をネジ部に付け規格、固定してください。



木ネジ

接着剤を塗布してください。

発泡材用接着剤



φ4.1×38ナベ木ネジ

取扱い店名